

m類 (第161図1010・第162図1011~1013)

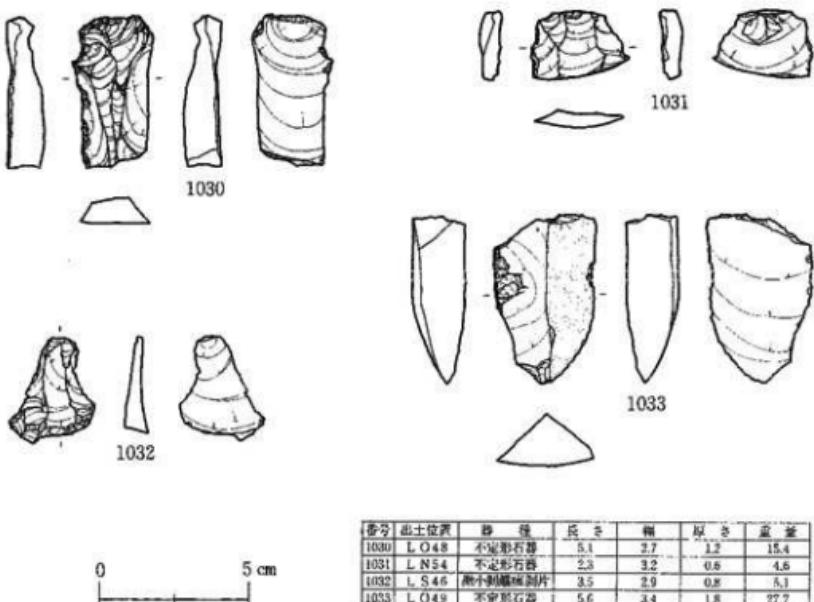
厚みのある大型剝片または分割離を素材とし、細い扇形に形成して、末端に急角度の丸凸刃を作出するものである。刃部には細かい階段状剝離痕がある。1010は背面の先行剝離痕に剝片が接合した。剝片Bを剝ぎ取った後作業面を替えず打面を約90度転移して剝ぎ取った剝片Aに二次加工を施したものである。

n類 (第159図1000・1001・第163図1014~1016・第164図1017~1019・第165図1020~1022)

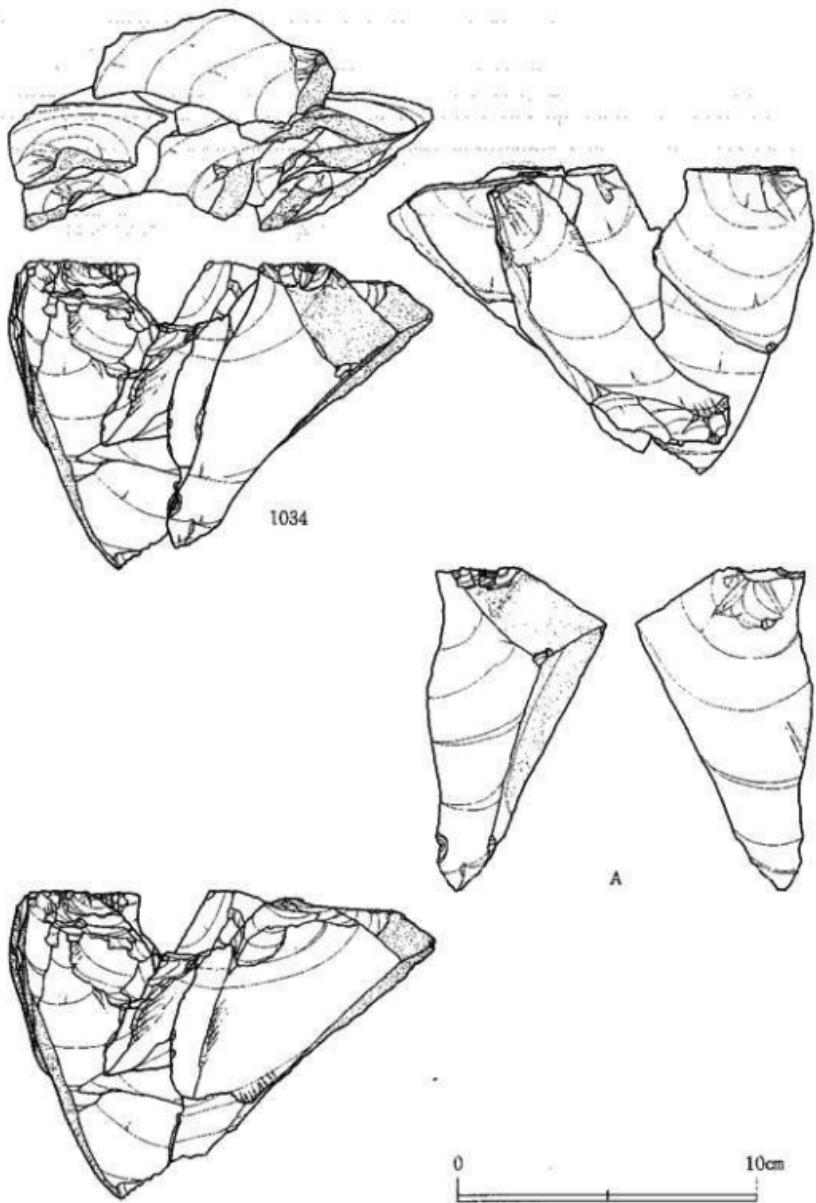
石核(残核)縁辺の片面の一部に細かい二次加工を施して刃部を作出したものである。刃部は裏面が内湾し、正面観は凸刃、立面観は裏面側に弧を描く。上、下が接合した1014は隣接するグリッドで出土した。1000は、1001を折り取り、折れ面をそのままにして一側縁に刃部を作出している。また折り取られた側(1001)は折れ面を打点とする石核としてさらに剝片を一枚剝ぎ取っている。1015・1021の刃部は両側から二次加工が施されている。

微小剝離痕のある剝片 (第166図1024~1027・第167図1032・第170図1035・第171図1036)

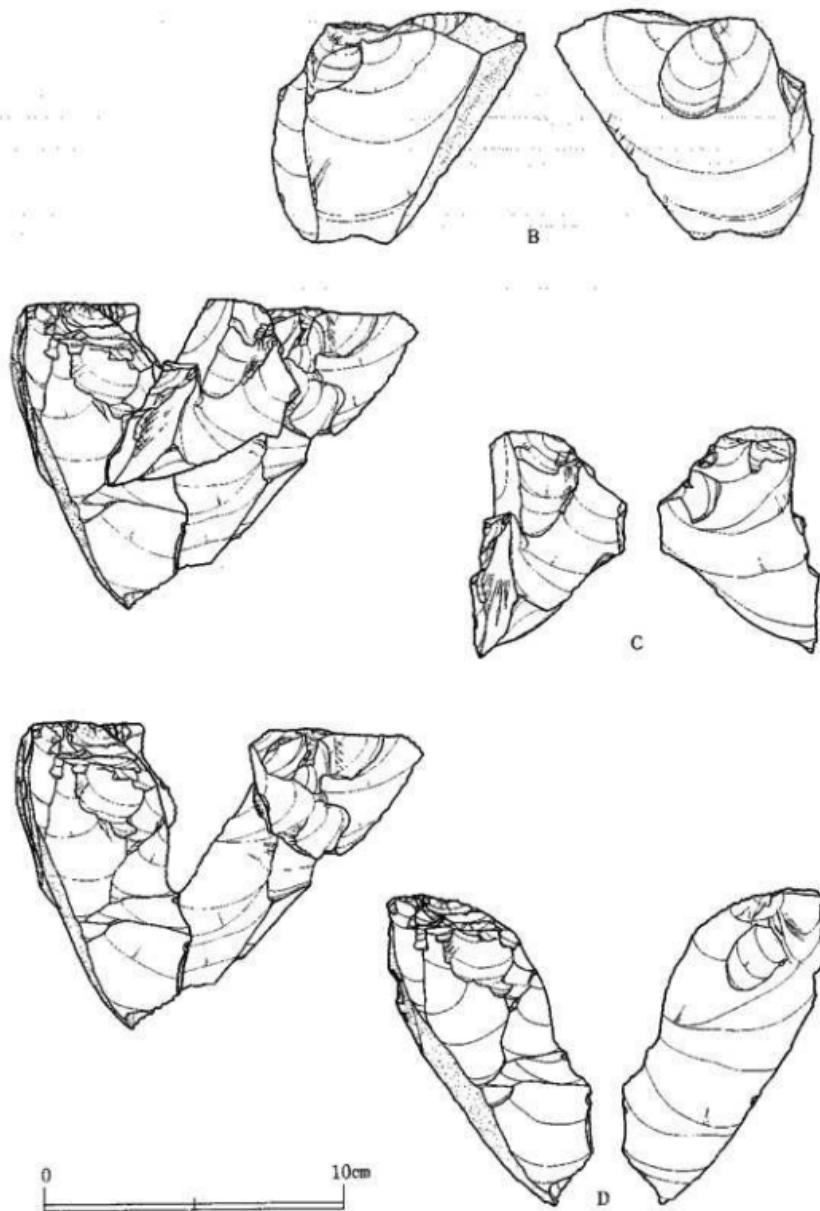
剝片の鋭利な縁辺をそのまま刃部として利用した使用痕と思われる微小剝離痕のある剝片で、折断による成形や二次加工を施していないものである。



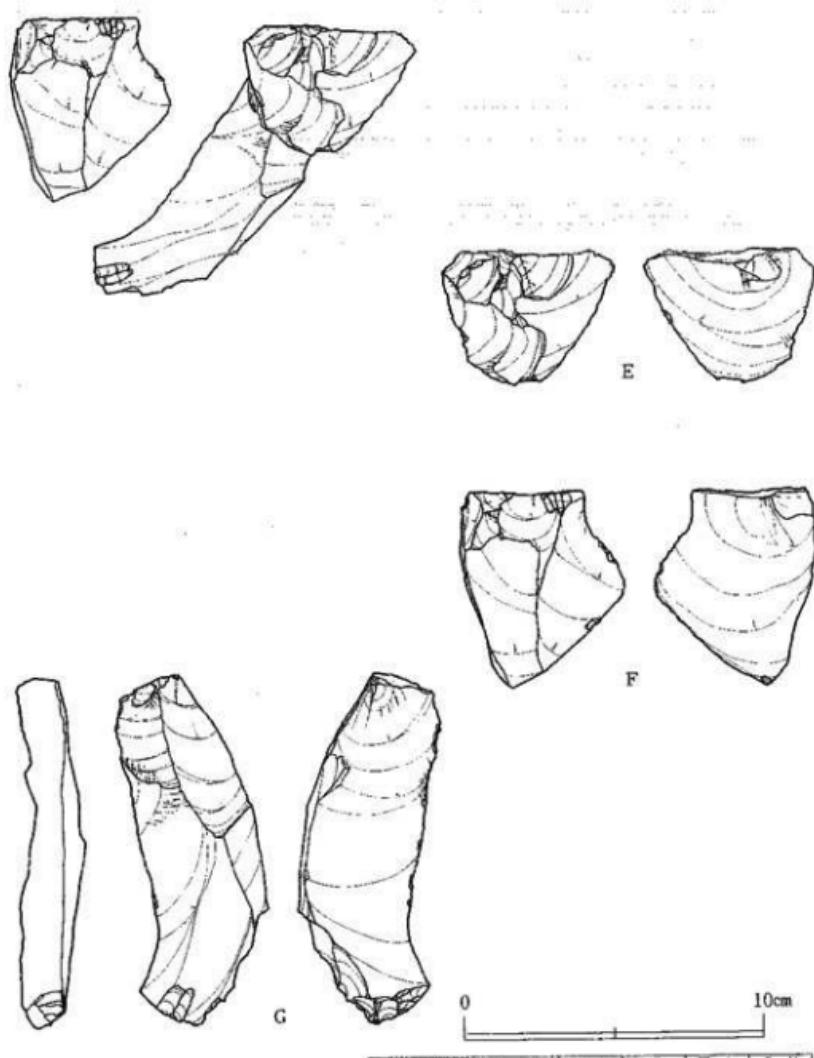
第167図 遺構出土石器(22)



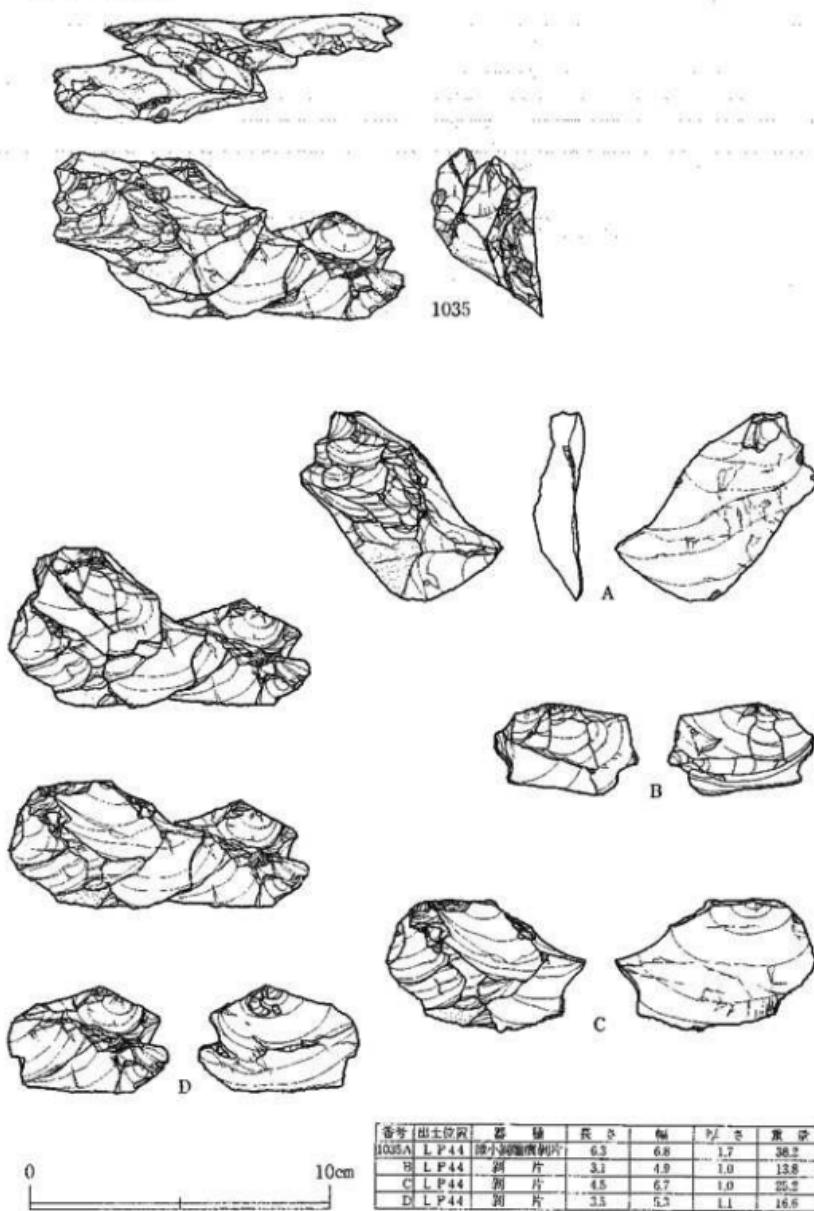
第168図 遺構外出土石器(23)



第169図 遺構外出土石器(24)

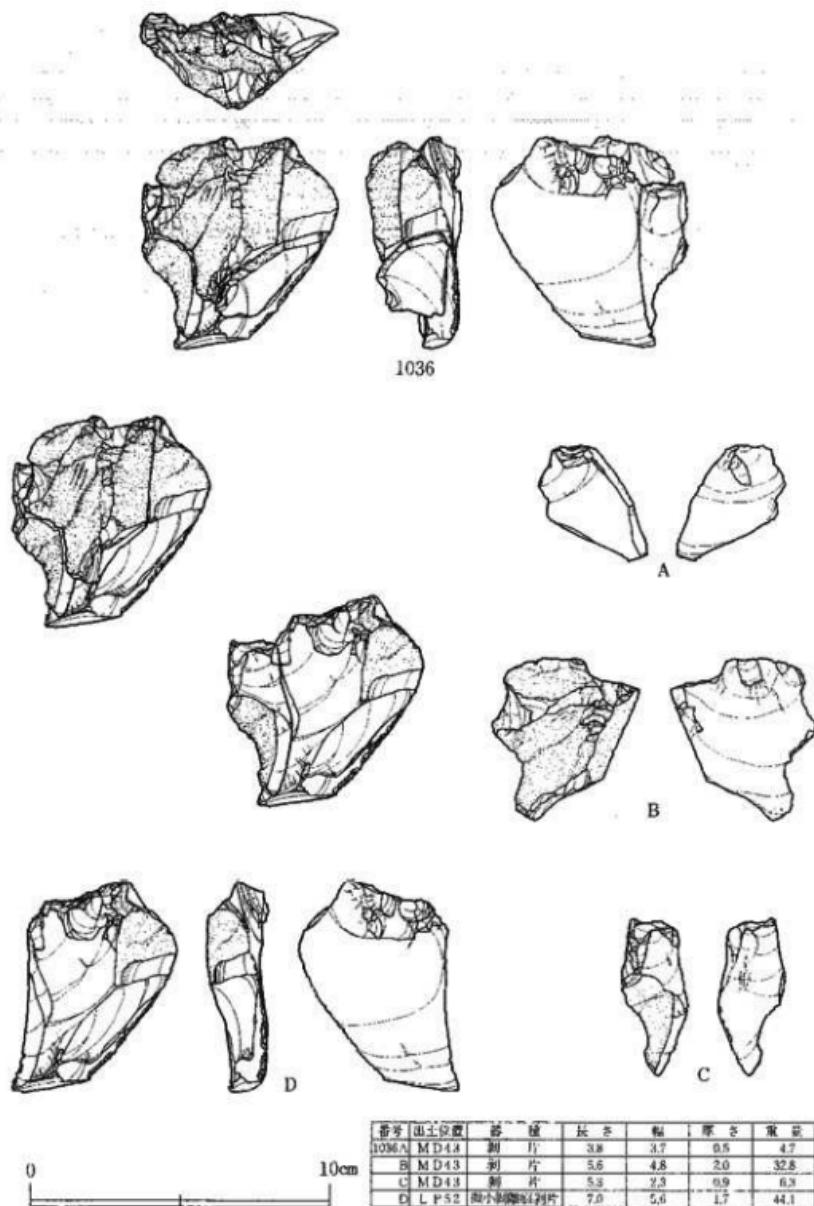


第170図 遺構外出土石器(25)

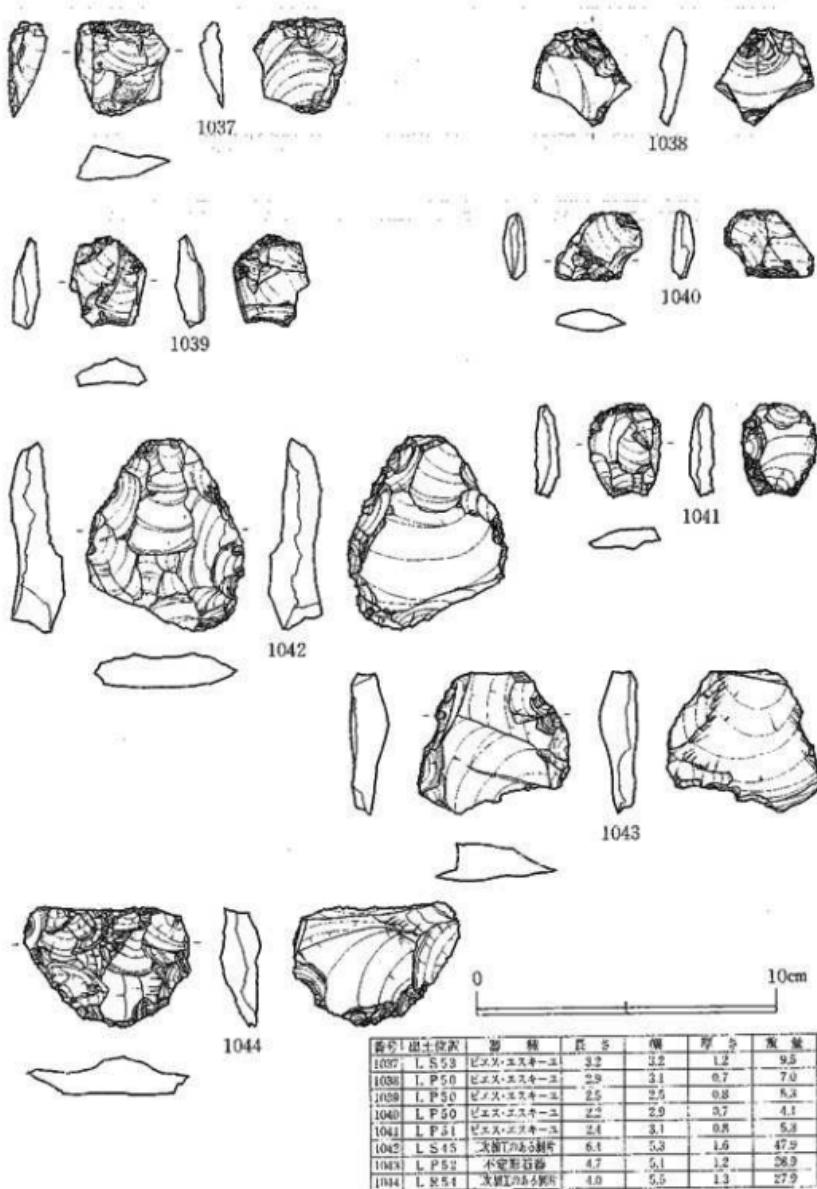


第171図 遺構外出土石器(26)

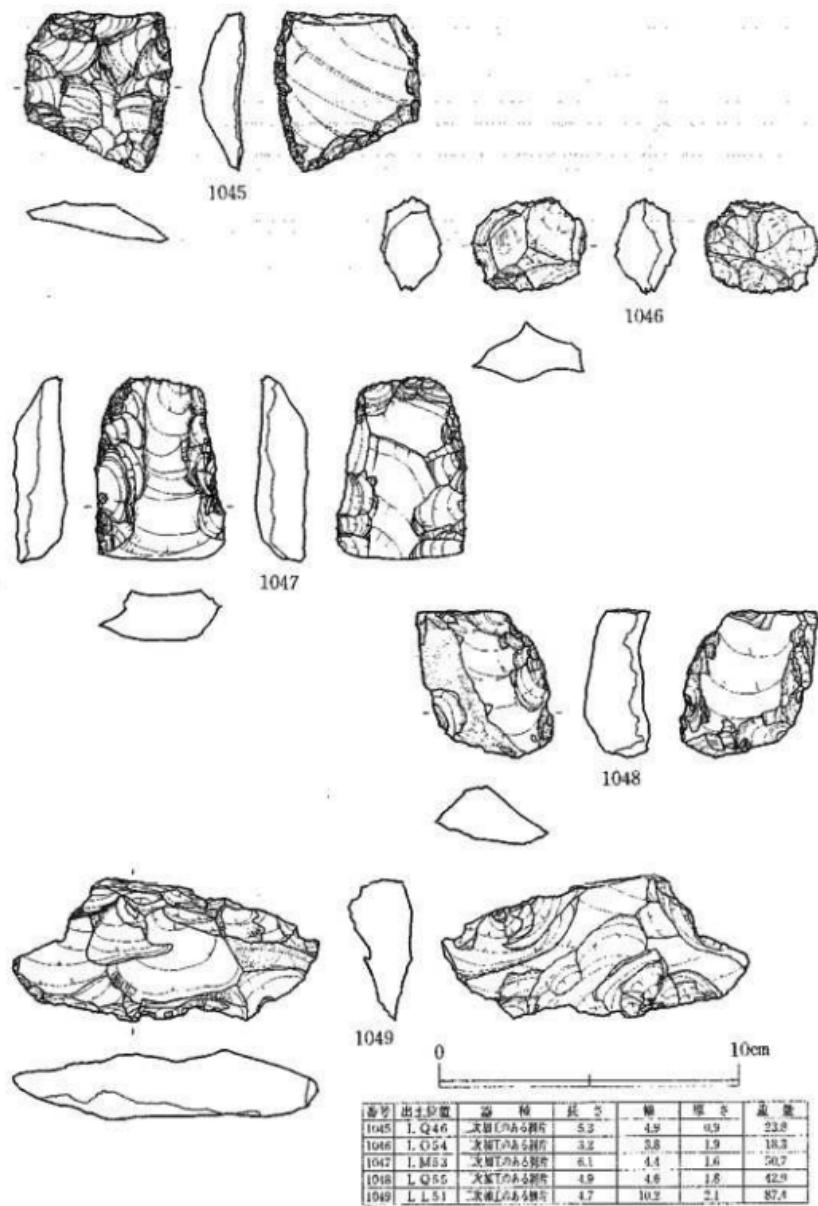
番号	出土位置	器種	長さ	幅	厚さ	重量
1035A	L P 44	波小剥離面削片	6.3	6.8	1.7	38.2
B	L P 44	剥片	3.1	4.9	1.0	13.8
C	L P 44	剥片	4.5	6.7	1.0	25.2
D	L P 44	剥片	3.5	5.3	1.1	16.6



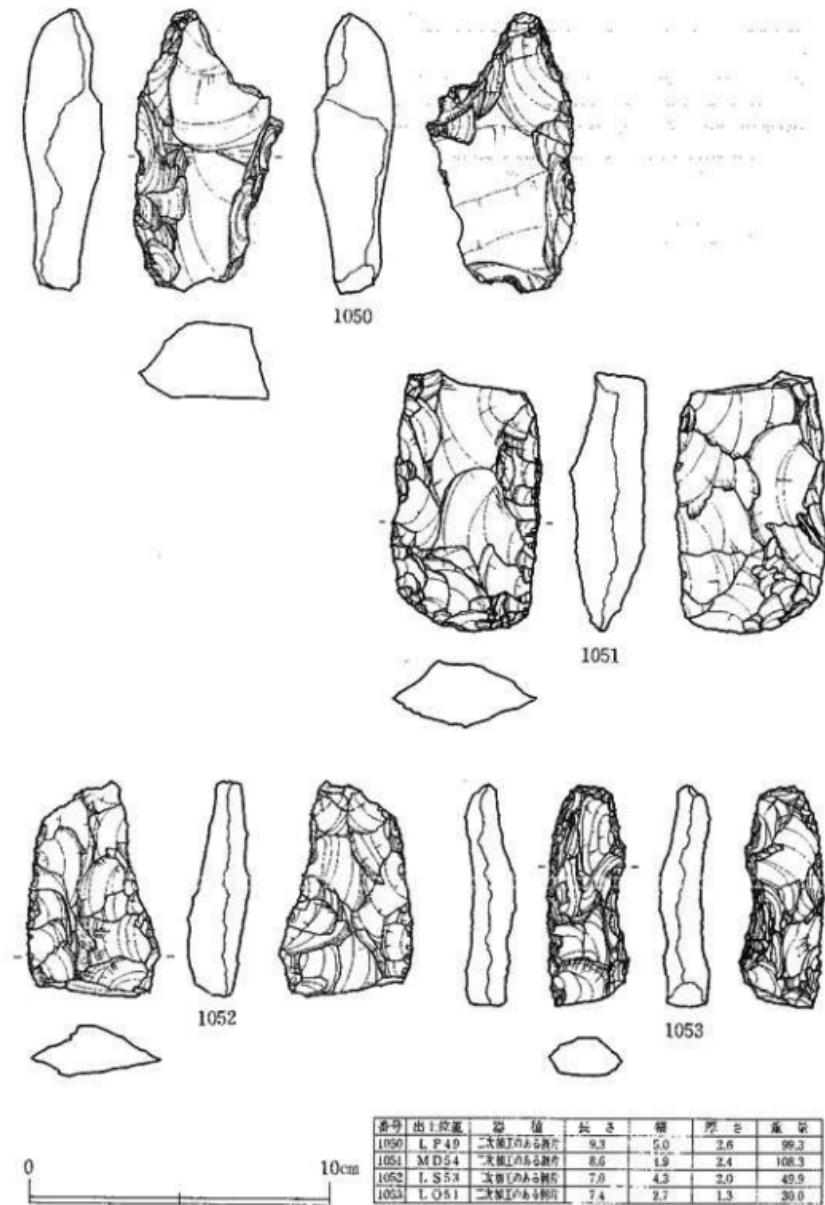
第172図 遺構外出土石器(27)



第173図 遺構外出土石器(28)



第174図 造構外出土石器 (29)



第175図 遺構外出土石器(30)

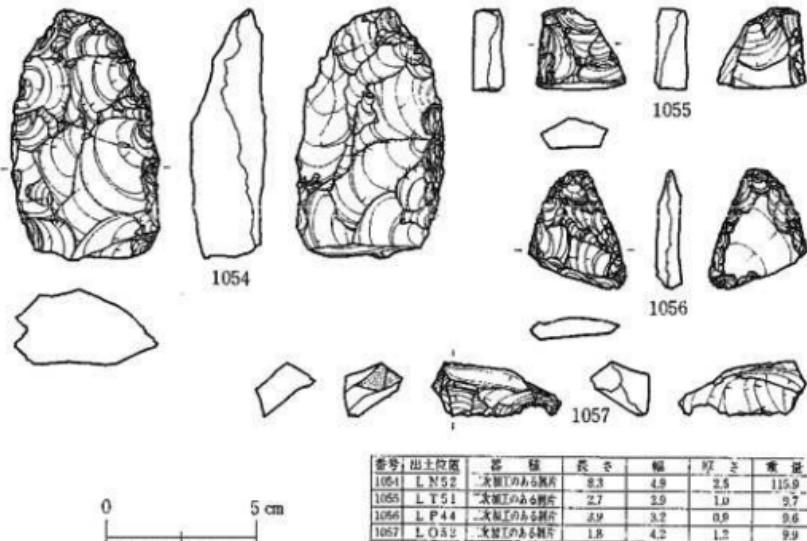
1024・1025・1027・1028は剥片の側縁に、1026・1032は末端に微小剝離痕がある。1026は末端が主要剝離面側に湾曲しており、不定形石器a類と同様の機能をもつものであろう。1035は他の剥片が接合したものである。1035Aは側縁の一部に微小剝離痕がある。A～DともLP44グリッドで出土しており、このグリッド内において、剥片剝離作業が行われ、かつ何らかの作業にAが使用されたものであろう。1036は微小剝離痕のあるDのみが、堅穴住居跡や建物跡が近接するLP52グリッドから出土し、他の剥片はすべてMD43グリッドの石器群ブロックから出土した。石器群ブロックで、剥片剝離作業が行われ、使用に適する剥片Dが、居住域に持ち運ばれて使用されたものと考えられる。

ビエススキュー (第173図1037～1041)

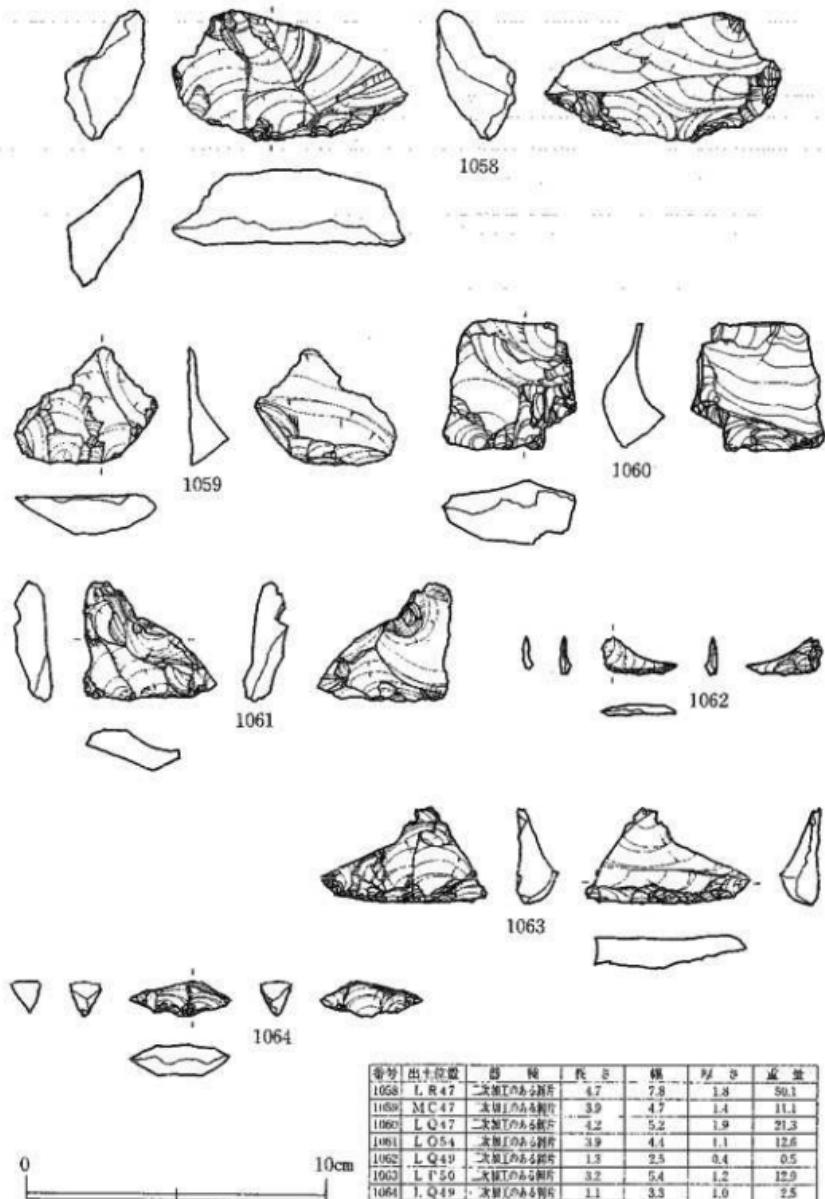
両極剝離痕のある石器で、剝離痕は階段状剝離やつぶれが著しい。LP50グリッドで集中して出土した。1037のみ側縁が折断面である。

二次加工のある剥片 (第173図1042・1044・第174図1045・第177図1064)

素材剥片に二次加工が施されるが、刃部の形成が認められないものである。1042・1044・1045・1056は主要剝離面側の縁辺に急角度の二次加工を施し、それを打面とする調整を背面全体に施したものである。縁辺には刃部は形成されない。1047～1050は厚みのあるやや大型の剥片の縁辺に交互剝離状に二次加工を施したものである。1046・1052～1054は厚みのある大型の剥片の両面全体に二次加工を施している。側縁は交互剝離状または階段状剝離で、刃部は作出され



第176図 遺構外出土石器(31)



第177図 遺構出土石器(32)

ていない。

1057～1064は不定形石器の一部が縁辺から強い力を受けて折れたものであろう。いずれも折れ面の末端がヒンジフラクチャーアクションに汚曲し、剥離面で斜めにズレた方向の折れである。

石核

形態から次の5類に分類する。

a類 立方体または直方体に近い形態 (第178図1065～第180図1069)

打面と作業面を固定せず転移させながら剥離を行っているもの (1065・1067～1069) と、作業面が固定しているもの (1066のa面) がある。

b類 三角錐に近い形態 (第181図1070～1072)

打面 (平坦打面) を固定し、同一方向の加熱によって剥片剥離を行っている。

c類 棒状の形態 (第182図1073～第186図1082・第187図1086・第190図1091・1092)

1078以外は断面形が三角形となる。1073はa面を打面としてe面から、その後打面をe面に転移して、a面から剥片を剥ぎ取り、さらにa面とd面のなす接線上から交互剥離状にa面とd面から剥片を生産している。1074はd面を打面 (平坦打面) とし、a・b両面が作業面である。1075～1092もほぼ同様の剥離技法がみられる。1091・1092は平坦な作業面の周囲から小剥片を剥ぎ取っている。1081はc面を打面とする剥片が接合した。この剥片を剥ぎ取った後、その剥離面を打面としてa面を作業面とする剥離を行い、さらにその剥離面を打面として再びb面から剥片を剥ぎ取っている。

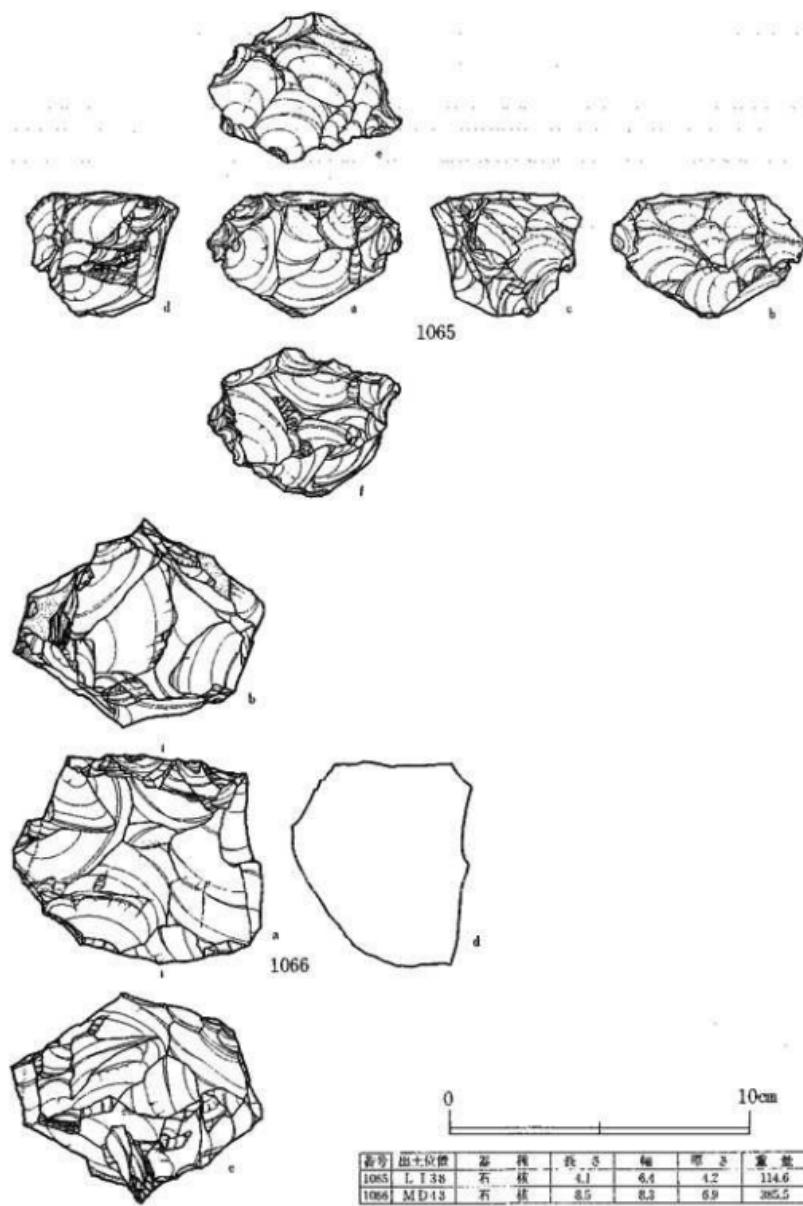
d類 板状の形態 (第187図1083～1085・第188図1087・第189図1090)

いずれもa・b両面に剥離痕がある。1088・1089はb面に自然面を残し、主要剥離面側から剥片を剥ぎ取っている。1083・1084はc面・d面が打面、a面・b面が作業面である。1090は円盤状の形態で、c面にb面を打面とする小剥離痕がある。1087は4個の剥片・石核が接合したものである。大型剥片を素材とし、c面を打面として剥片Aを剥ぎ取り、打面をe面に替えて、Bを剥ぎ取る際にB・C・Dの三個に分割された。その後、B・Cは石核としてさらに剥片剥離を継続している。

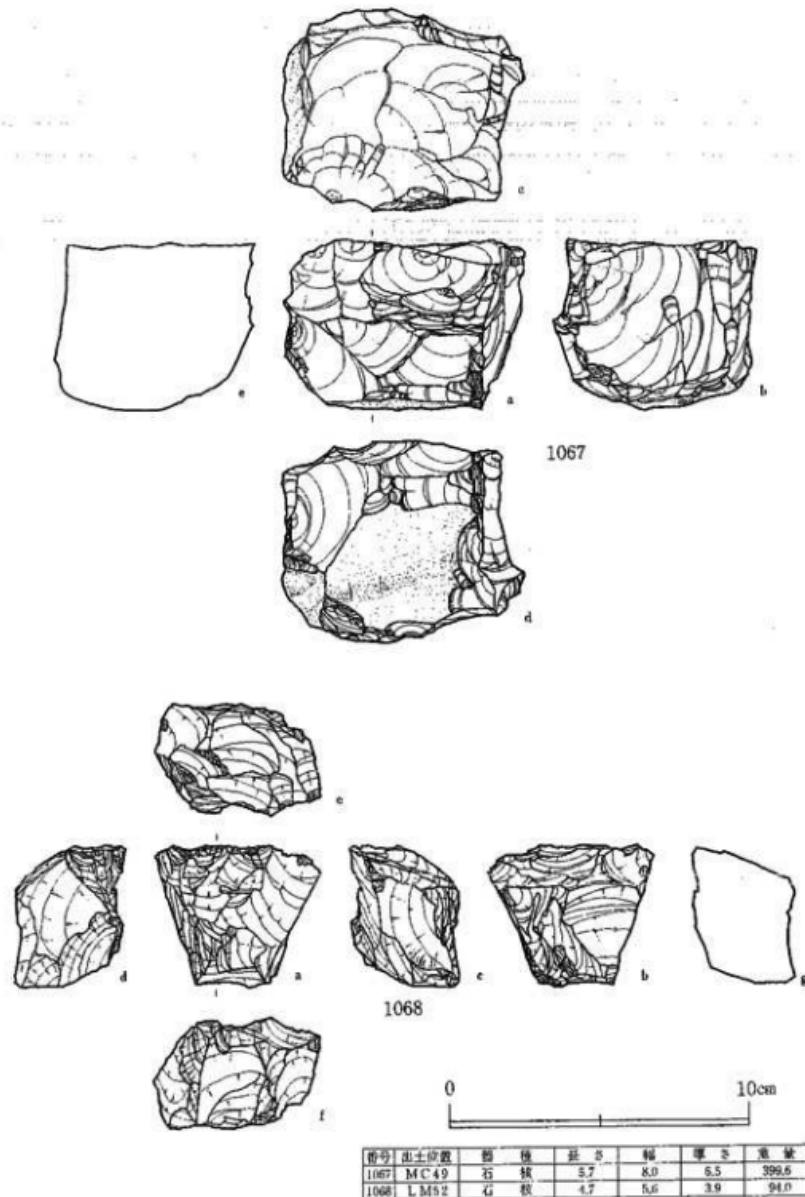
e類 その他の石核 (第191図1093～第195図1103・第198図1107)

1093～1097は剥片素材の石核で、主要剥離面または折れ面を打面とし、作業面の約半分以上の大きさの剥片を1枚剥ぎ取ったものである。1094以外は末端がヒンジフラクチャーアクションで終わる。他の剥離痕は石核整形のためと思われる。

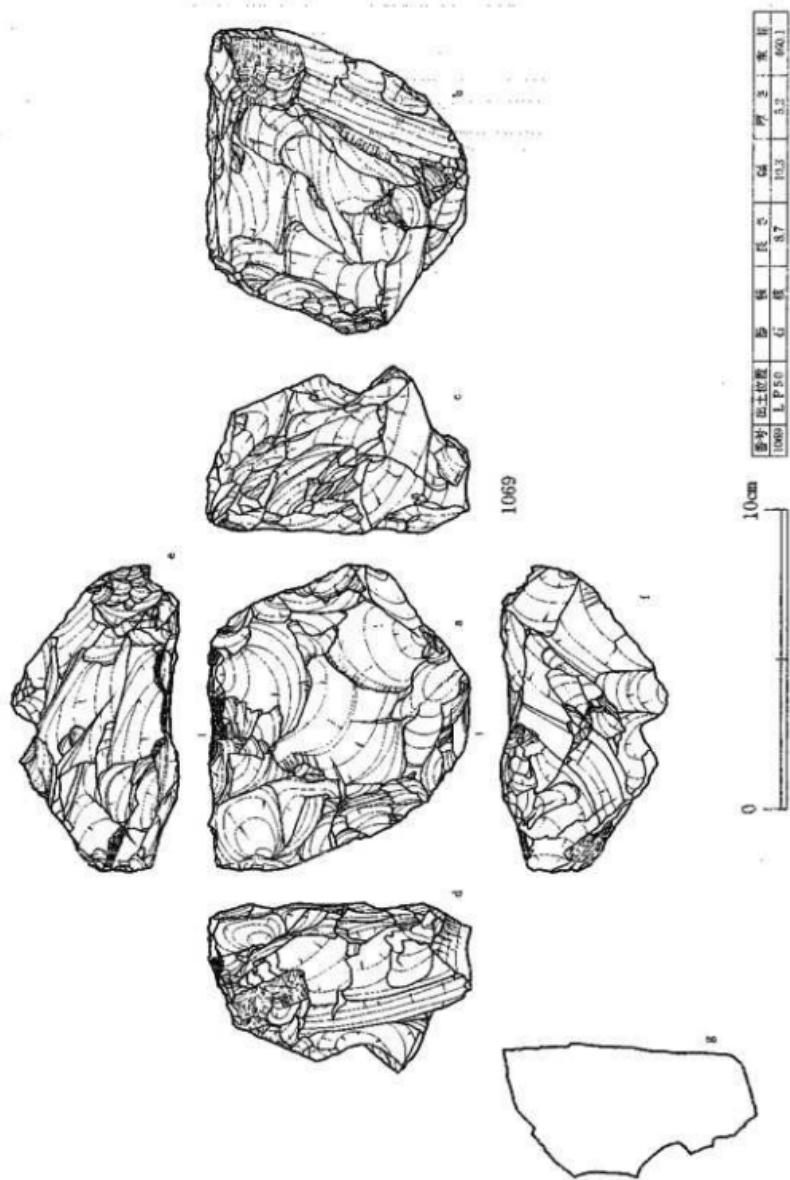
1100はa面とb面およびc面を作業面とし、相互に打面を替えながら、大型の剥片を生産している。2枚の剥片が接合したが、剥片Aと石核CはME45グリッドの石器群ブロックから出土し、剥片Bは遠く離れた調査区北東斜面から出土した。1102はC面を打面とし、接合剥片の



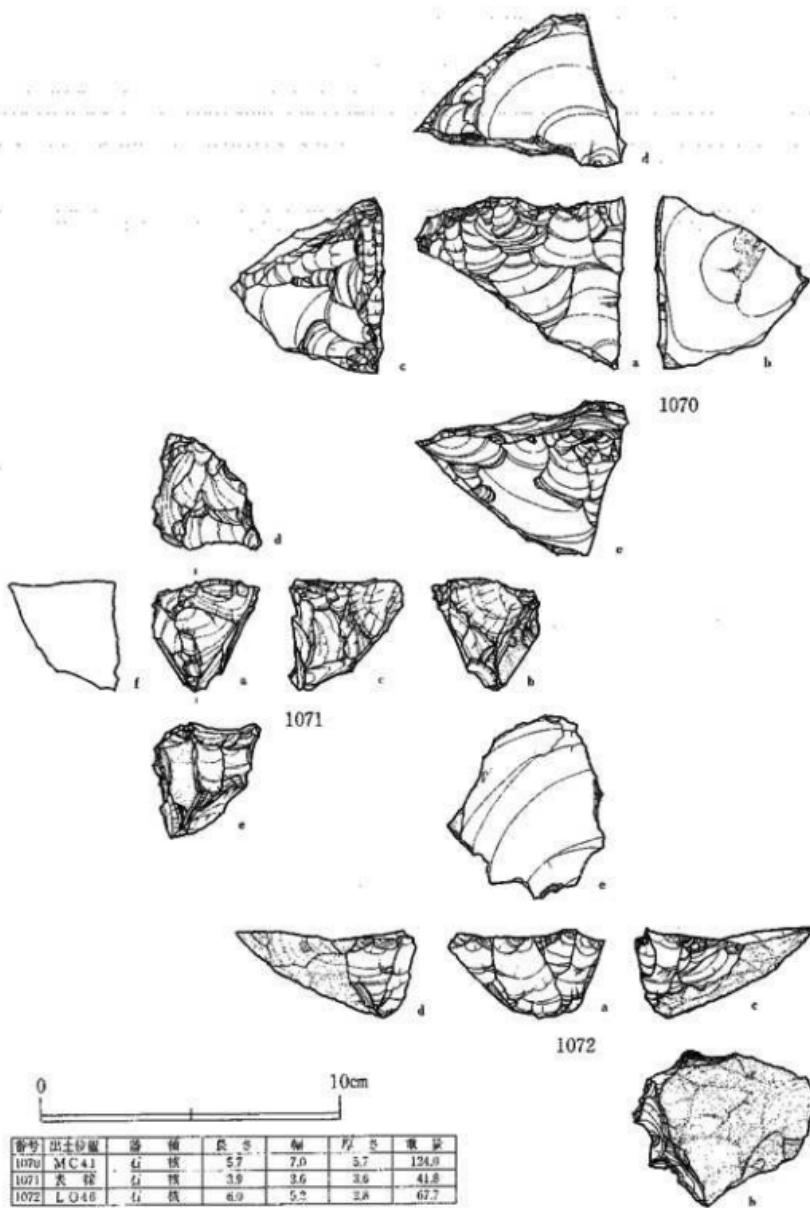
第178図 遺構外出土石器(33)



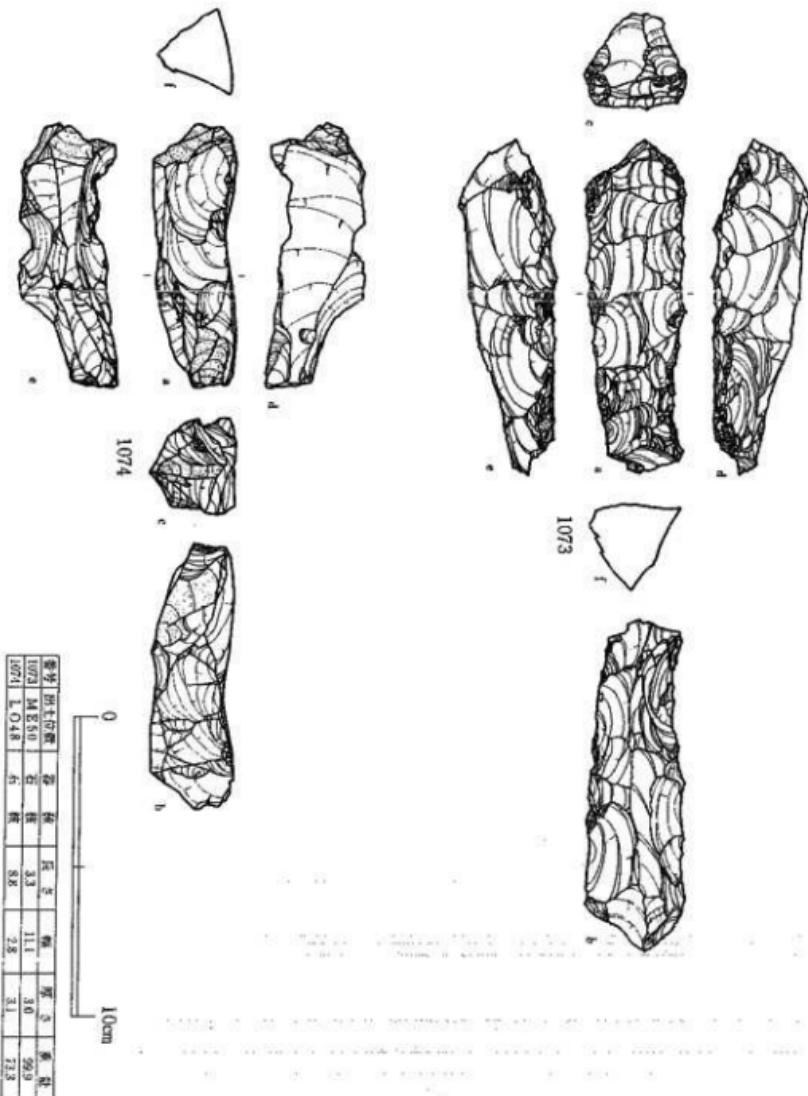
第179図 遺構外出土石器(34)



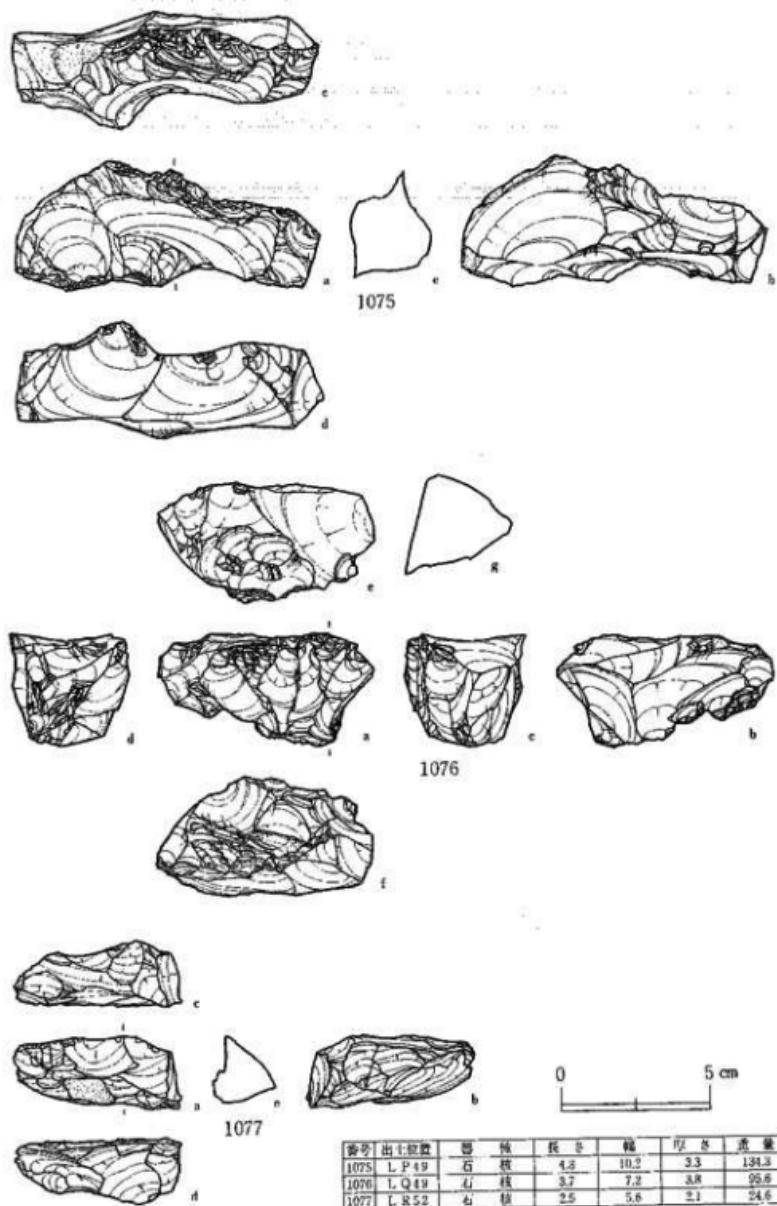
第2節 A区の遺構外出土遺物



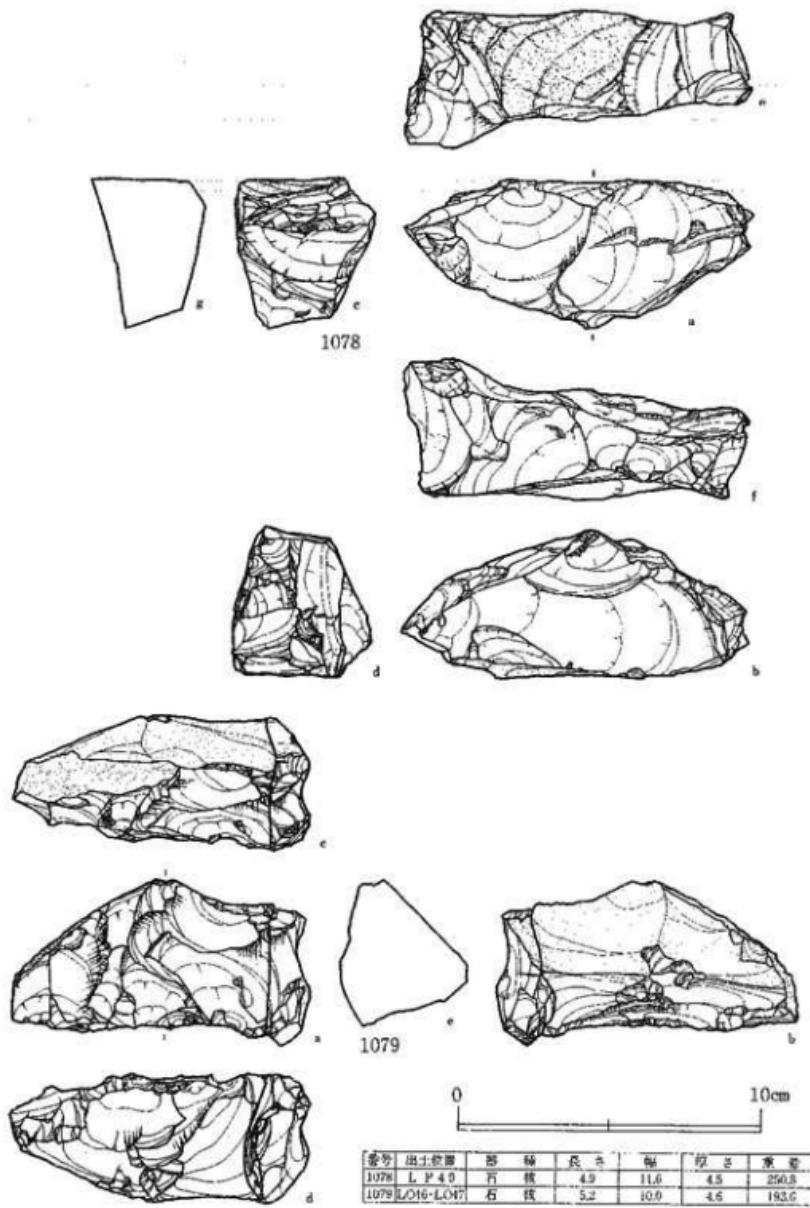
第181図 遺構外出土石器(36)



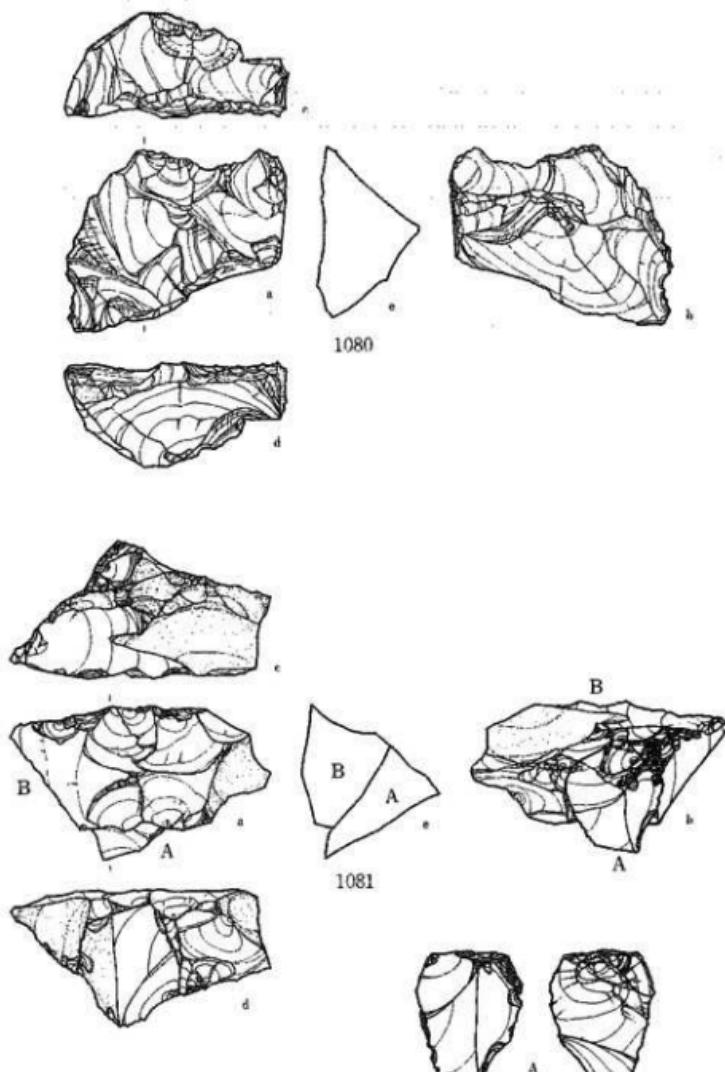
第182圖 通譜外出土石器(37)



第183図 遺構外出土石器(38)



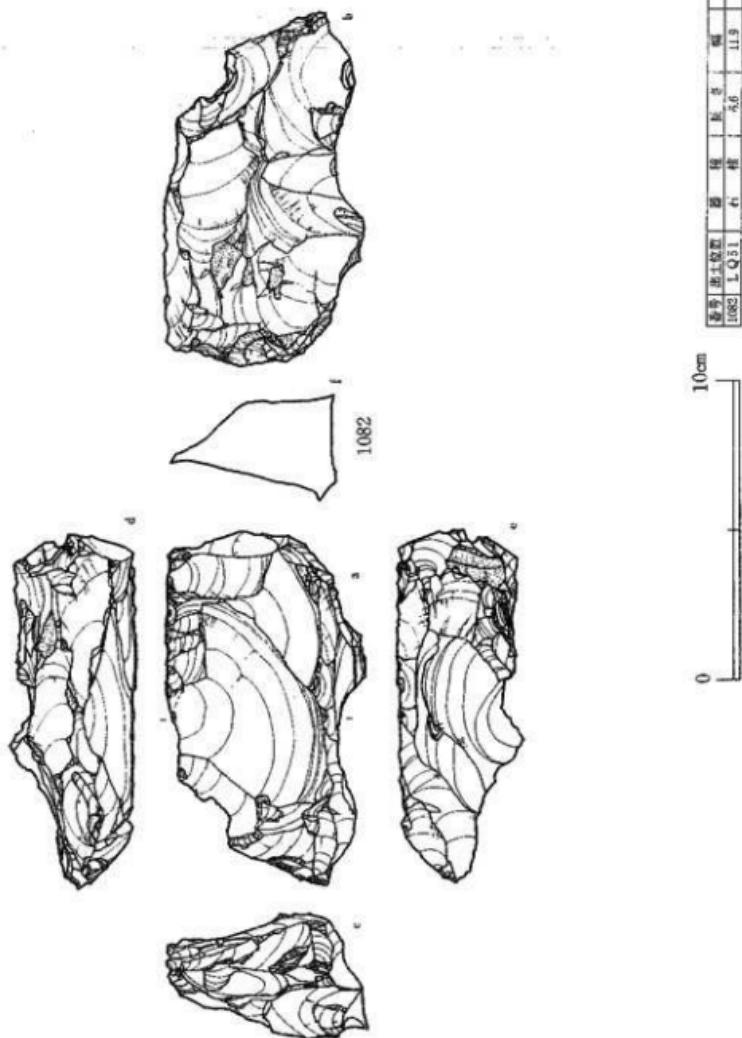
第184図 遺構外出土石器(39)



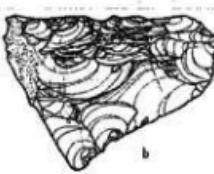
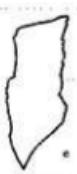
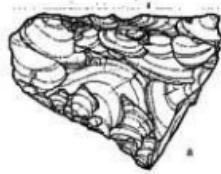
0 5 cm

番号	出土位置	器種	長さ	幅	厚さ	重量
1080	L.P.47	石核	6.0	7.4	3.1	105.0
1081A	L.Q.58	側片	4.4	3.5	2.5	22.1
B	L.Q.49	石核	4.6	8.6	3.4	112.3

第185図 造構外出土石器(40)



第186図 造船外出土石器(41)



1083

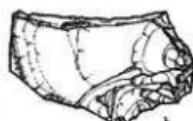
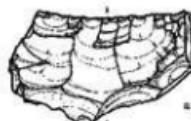


c



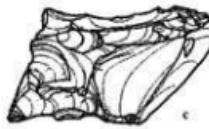
b

1084

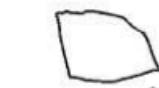


b

1085



c



d



e

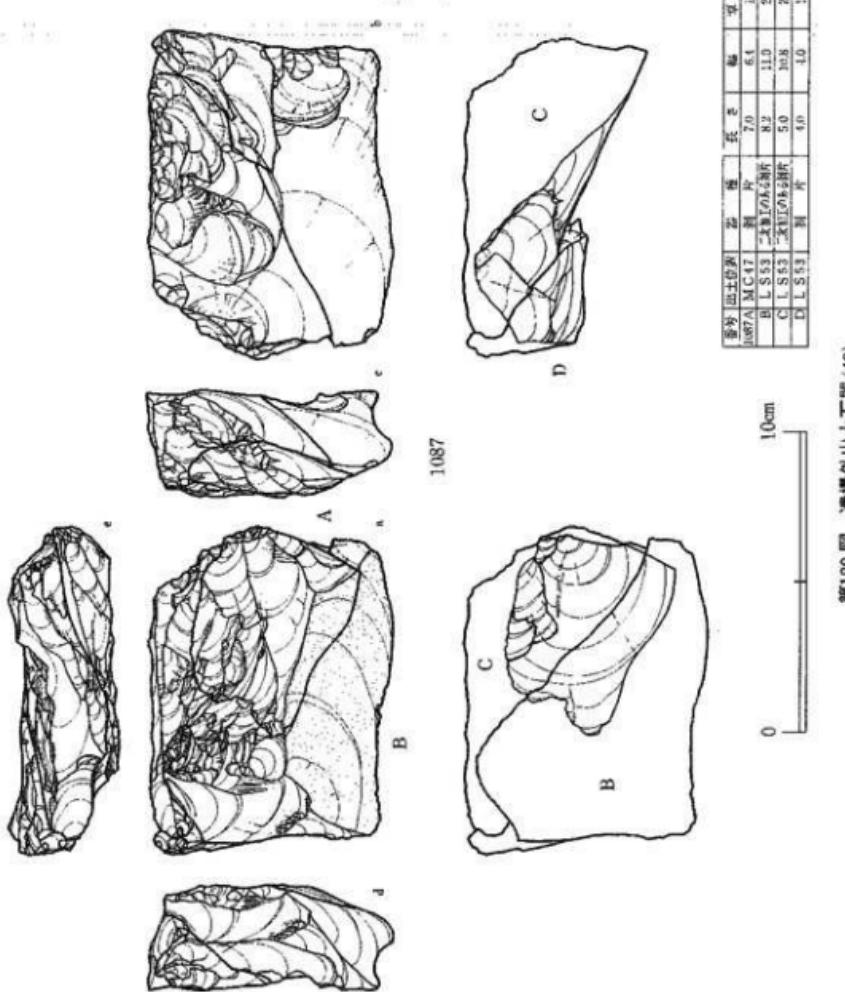
1086

0

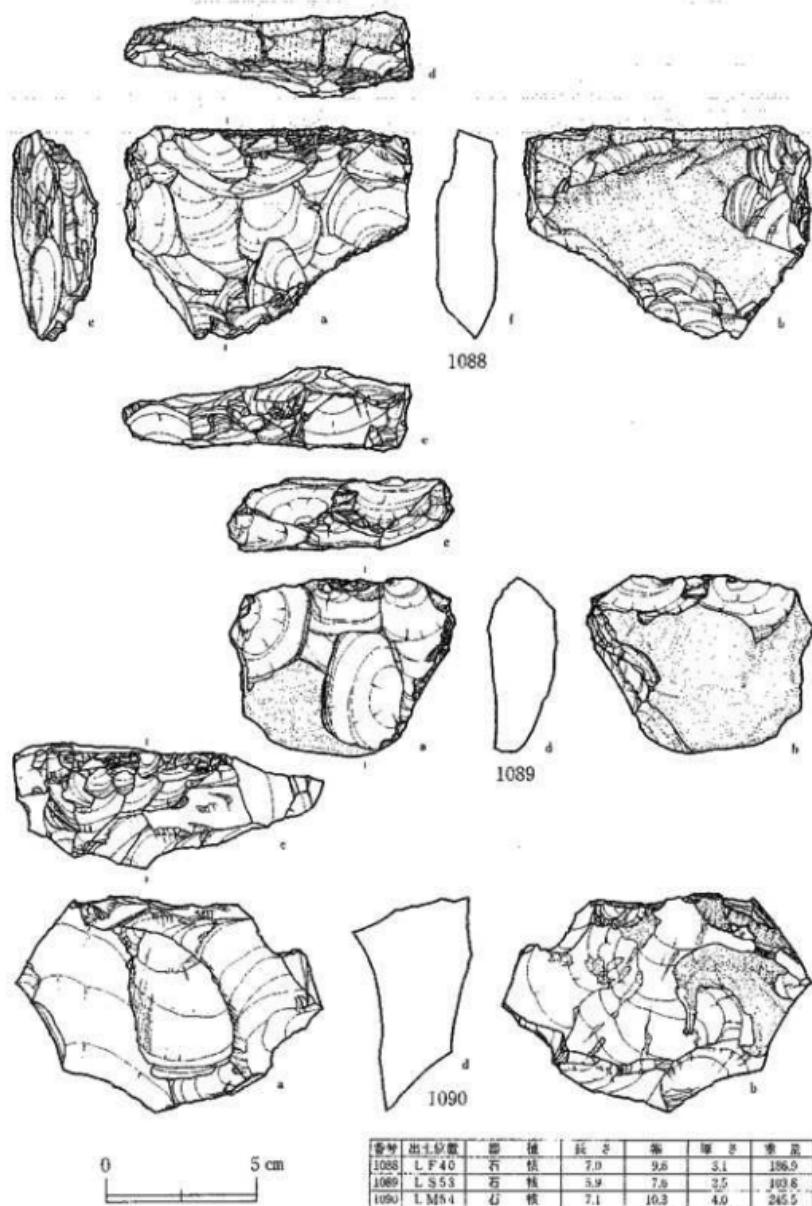
10cm

番号	出土位置	器種	長さ	幅	厚さ	重さ
1085	L-S49	石板	5.1	7.1	2.5	69.4
1084	L-N51	石核	7.6	4.1	1.9	64.0
1085	L-P49	石核	3.6	6.2	1.6	39.3
1086	L-Q49	石核	3.8	6.8	3.1	74.2

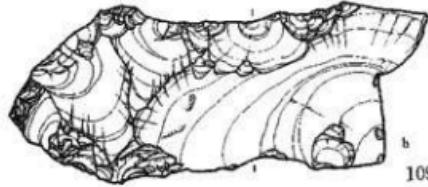
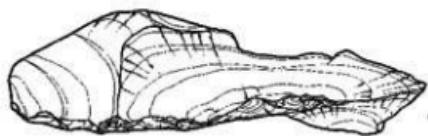
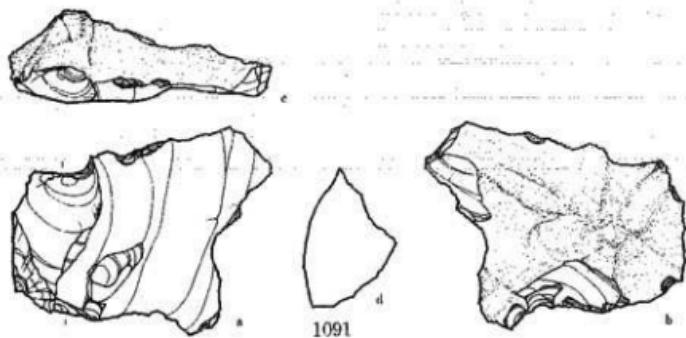
第187図 遺構外出土石器(42)



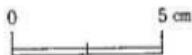
第188図 遺構外出土石器(43)



第189図 遺構外出土石器(44)



1092



番号	出土位置	器種	幅	長さ	%	厚さ	重量
1091	M C 47	石核	6.9	8.6	2.0	102.1	
1092	L Q 47	石核	5.9	13.9	4.0	233.8	

第190図 遺構外出土石器(45)

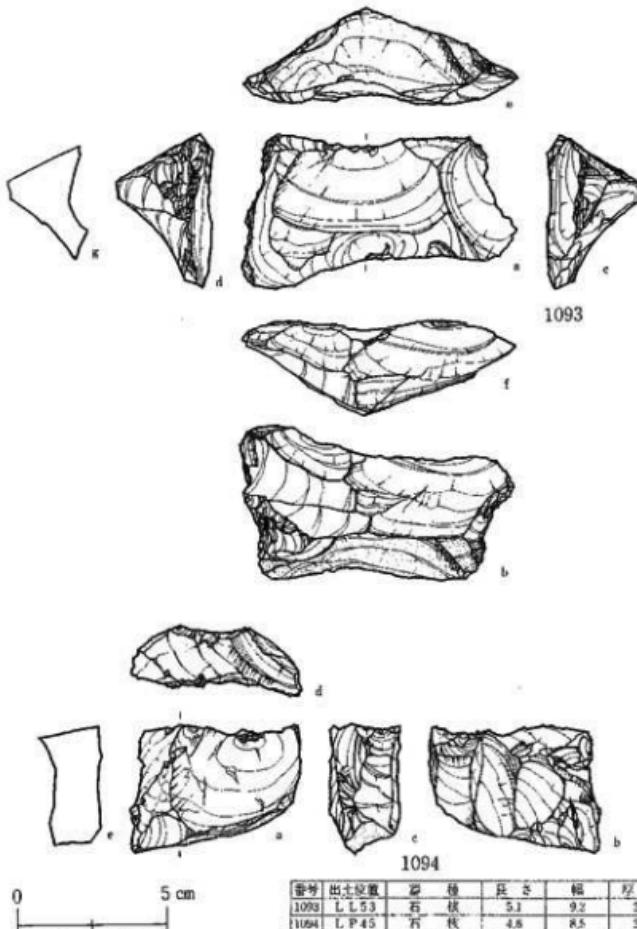
A・Bを含む数枚の剝片を剥ぎ取っているが、目的的な剝片は剝離されなかったようである。

1101は墨曜石の小転石を素材とする。片面は疊皮面が残る。1102は三角形に近い形態で、表面両側縁から交互剝離が施され、剝片Aのような小型の剝片が連続的に生産されている。

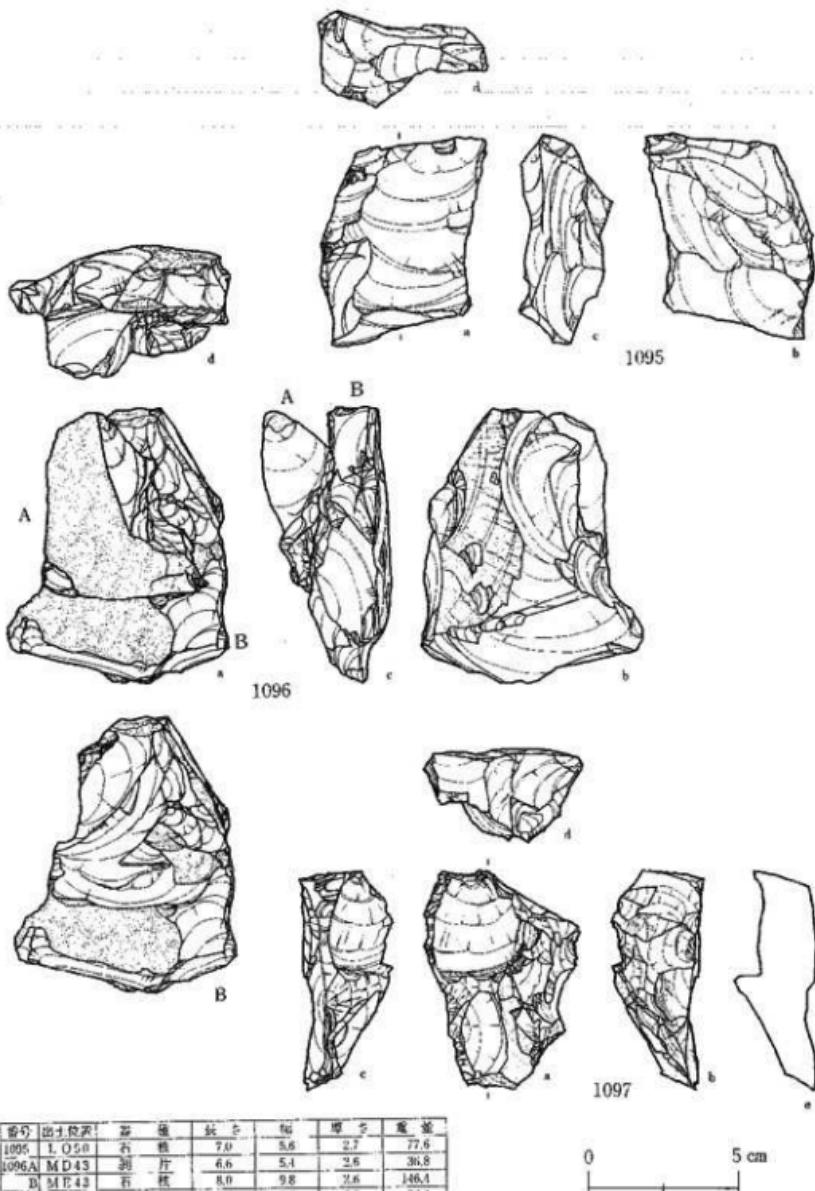
1103は椿円形の大型剝片を素材とし、その背面を作業面に、自然面の残る面を剝片剝離の打面にしている。敲打痕のある石核1107は核が敲打によってつぶれて丸みを帯びている。

分割礫 (第196図1104～第198図・1105・1108)

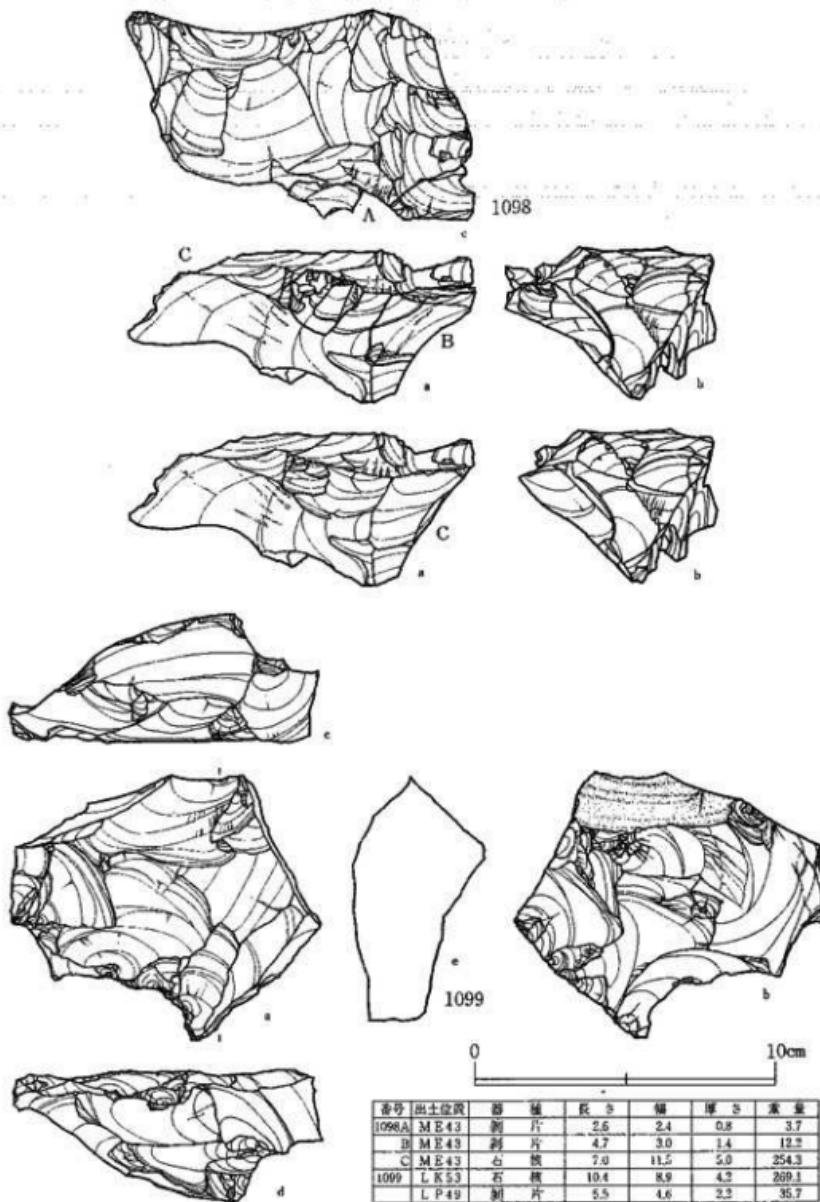
1104は分割された疊のCのみを石核として用いている。Cは分割面を作業面とする剝離痕が



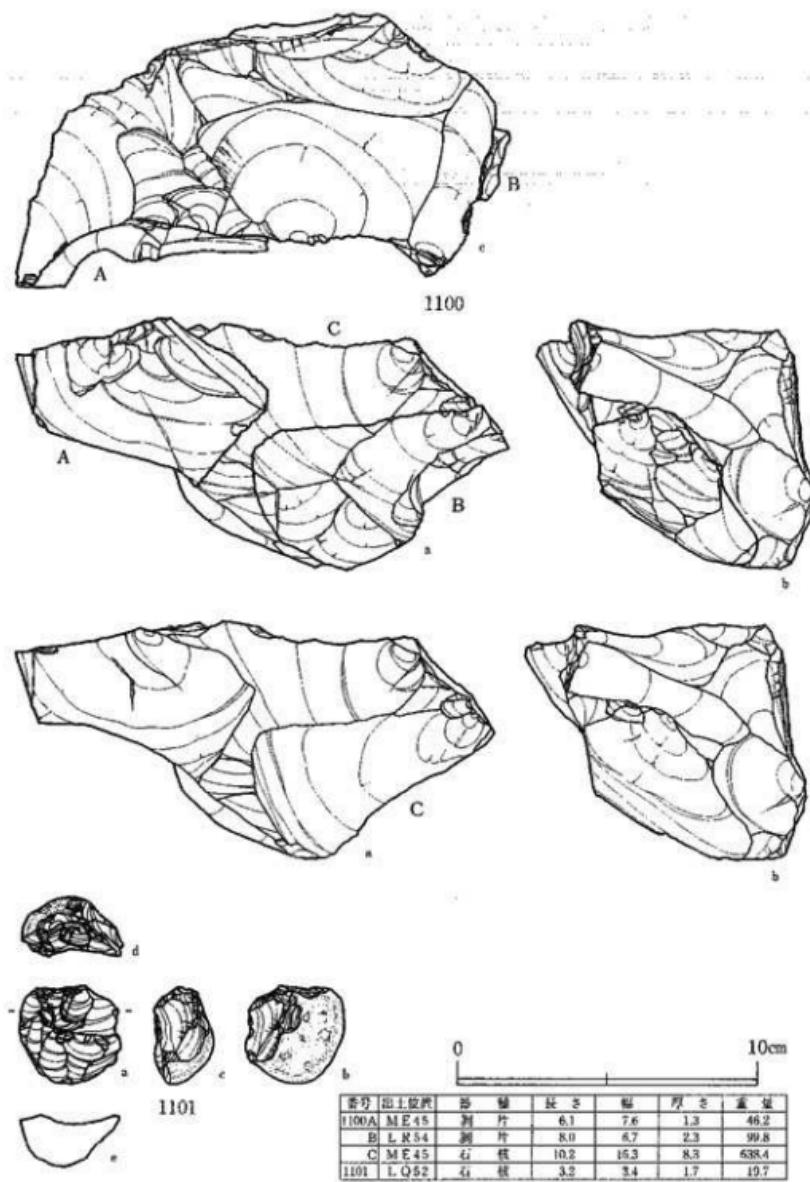
第191図 遺構外出土石器(46)



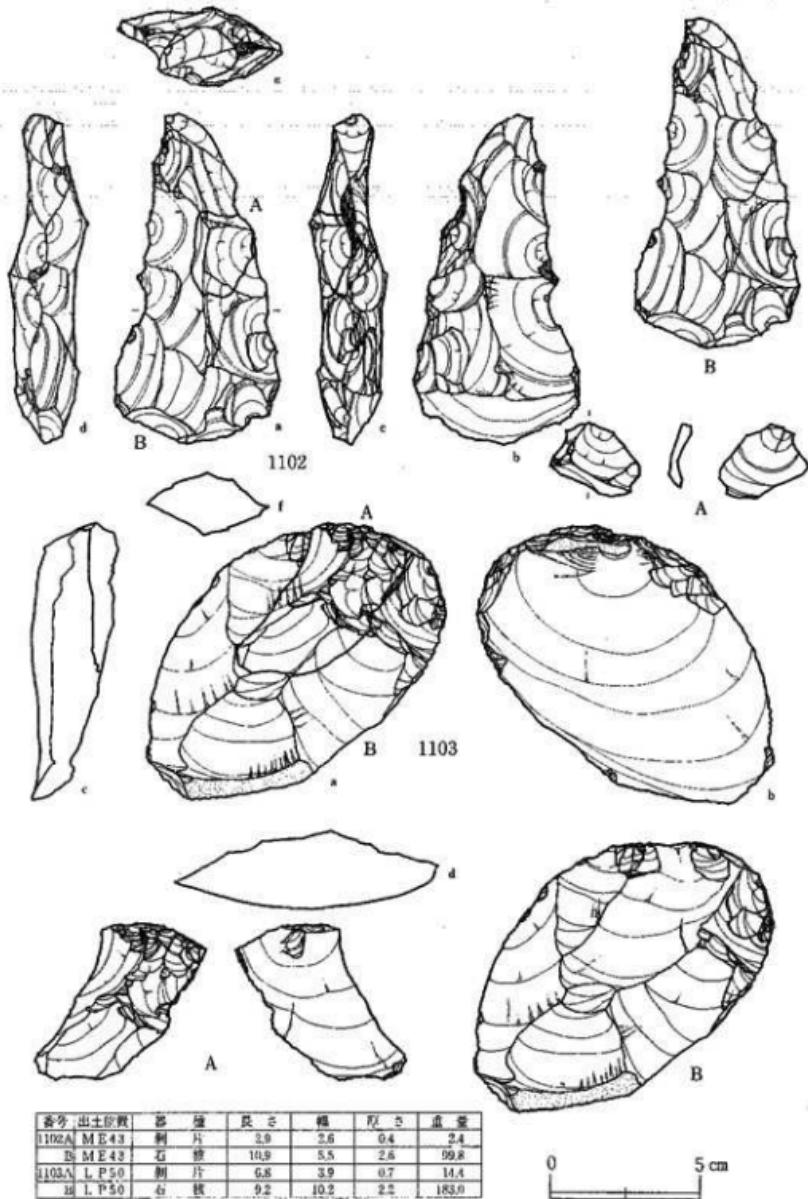
第192図 遺構外出土石器(47)



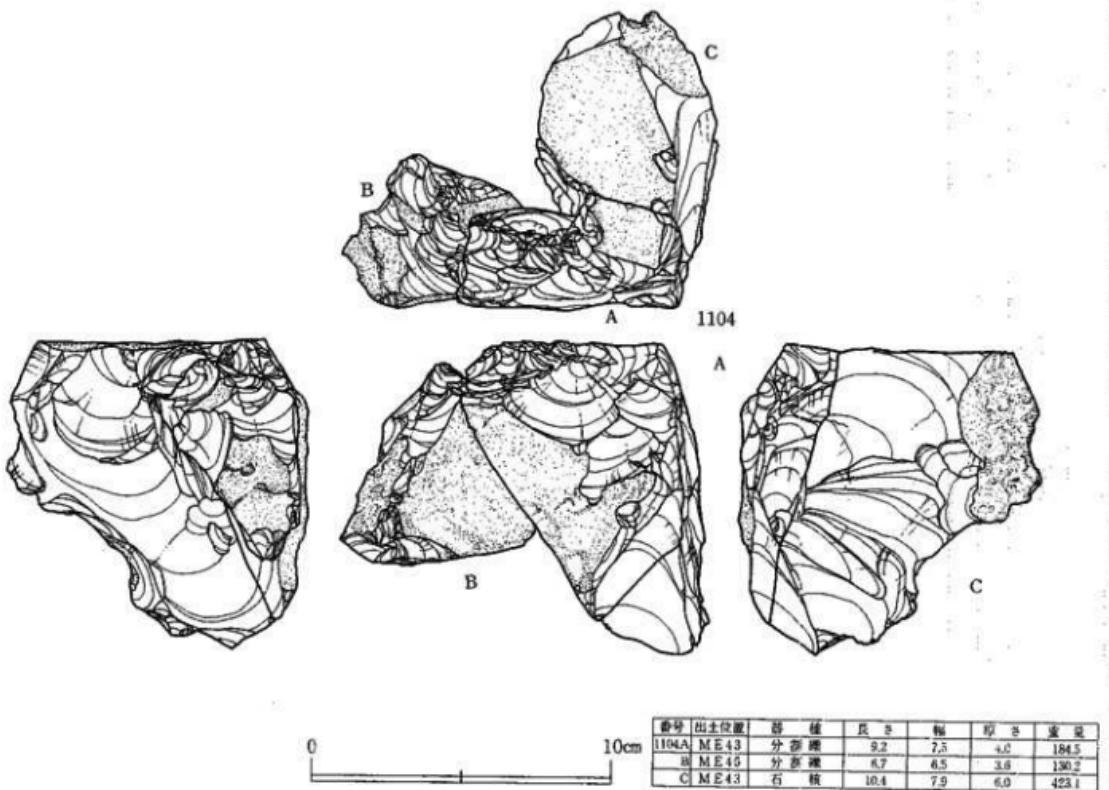
第193図 遺構外出土石器(48)



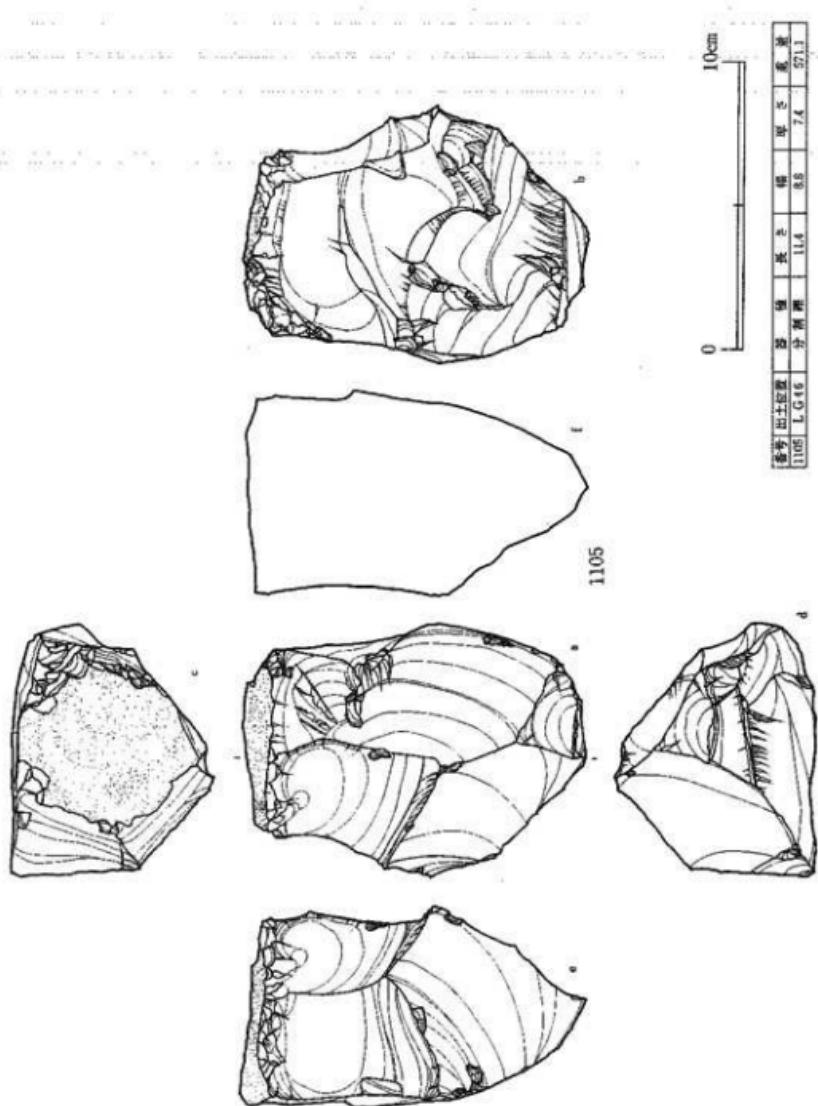
第194図 遺構外出土石器(49)



第195図 遺構外出土石器(50)



第196図 遷構外出土石器(51)



第197図 遺構外出土石器(52)

縁辺に残るが、8枚の剥片を生産したにすぎず、目的的な剥片は剥ぎ取られなかつたと思われる。1105は礫皮面を加熱し、分割した状態の礫で、剥離面はa面の左側の2枚でそれ以外は節理面である。1106は分割の途中で生成した剥片A・Bが接合した。それぞれが離れたグリッドから出土した。

接合剥片 (第199図1109～第203図1115)

接合資料は第9表・第10表に示す70例あった。そのうち、剥片のみが接合したものは、47例で最も多い。出土位置が同一グリッドではなく、遠く離れている場合もある。MA50グリッドではSK31土坑、SK72土坑と同様に同一母岩の小剥片が221個まとまって出土した(図版9)。

磨製石斧 (第204図1116～第205図1125)

1116・1117・1123以外はすべて破損品である。1117・1123は砂岩製で軟質である。裏面が磨滅している。1122は刃部と裏面は磨かれているが、両側縁と基部は打製である。

磨石 (第205図1126～第206図1129・第209図1146)

円礫の両面に磨面を有するものである。1128は断面形が円形ではば全面を磨っている。1146は細長い棒状の形態で、全面を磨っている。

凹石 (第206図1130～1134)

円礫を用いるものと偏平な亜角礫や、棒状礫を用いるものがある。円礫を用いるものは両面に磨面を合わせもっている。凹みは両面に二カ所ずつあるものが多いが、1131・1134のように、やや広がりをもって分布するものもある。

石皿 (第207図1135～1137)

いずれも大型の偏平な礫を用いている。磨面は凹んでいる。1137は磨面の中心部の凹みに敲打痕が著しい。

擦石 (第208図1138～1140)

1138・1139は断面形が三角形の細長い亜角礫の棱を敲打し、その部分に細い磨面をもつものである。1140は二面が磨面で、他は自然面である。

有孔石製品 (第209図1141)

断面三角形の棒状亜角礫の両端近くに穿孔したものである。穿孔は両側から行われ、孔の中央部で貫通している。

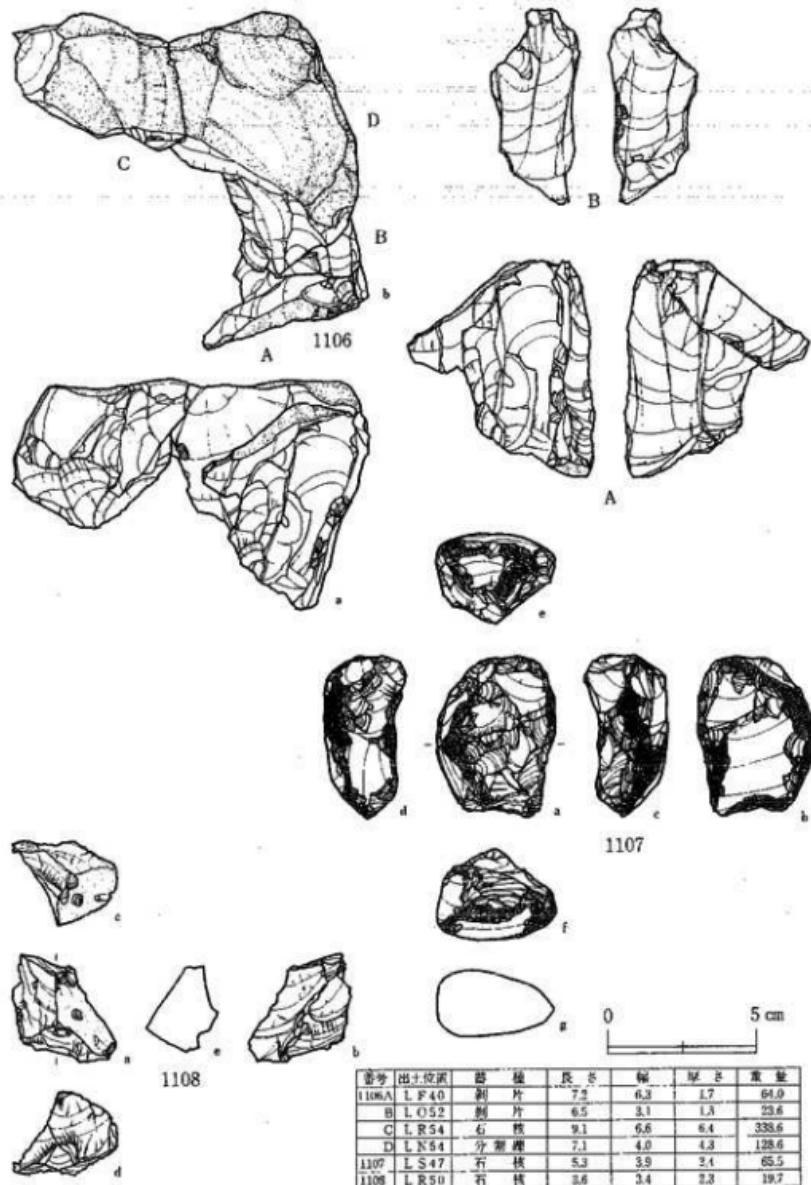
偏平礫・棒状礫・有孔礫 (第209図1142～1145・1147)

いずれも自然遺物であるが人為的に遺跡内に持ち込まれたものと考えられる。1143は黒曜石の転石である。

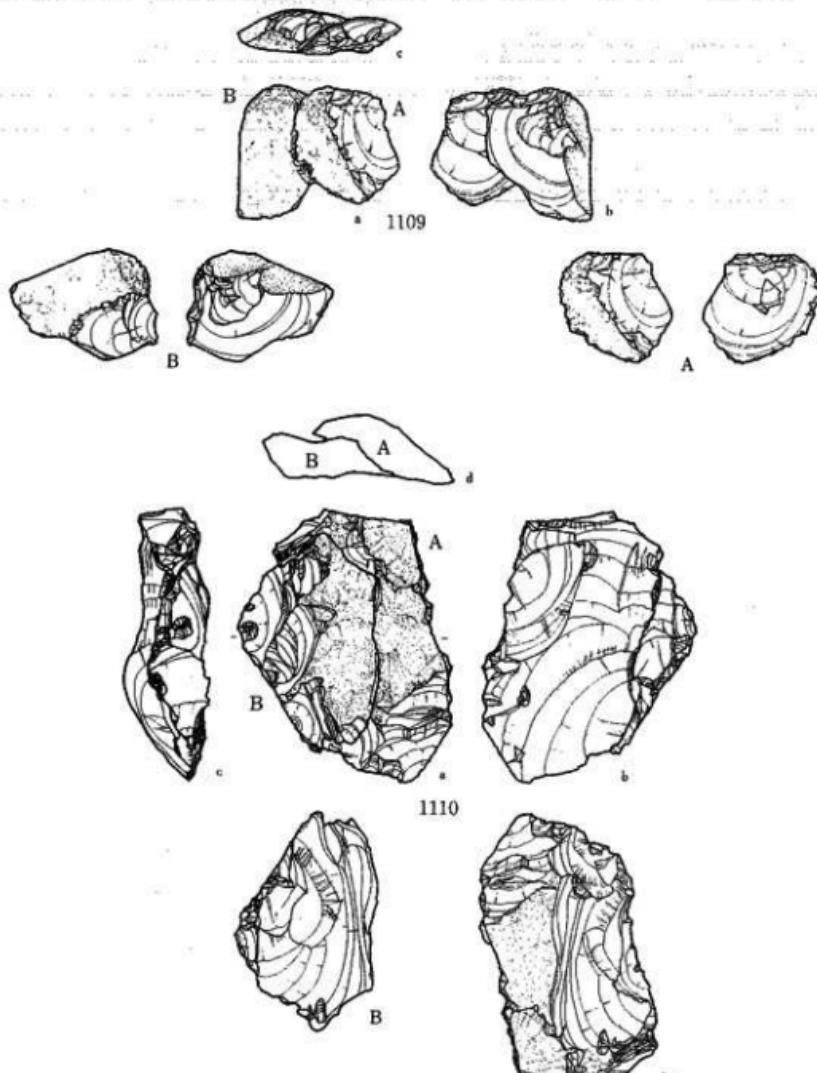
砥石 (第210図1148～1150)

1148は砂岩製で表裏両面のはか、側面のほとんども磨られている。表面の中央部は磨り減っ

第2節 A区の遺構外出土上遺物

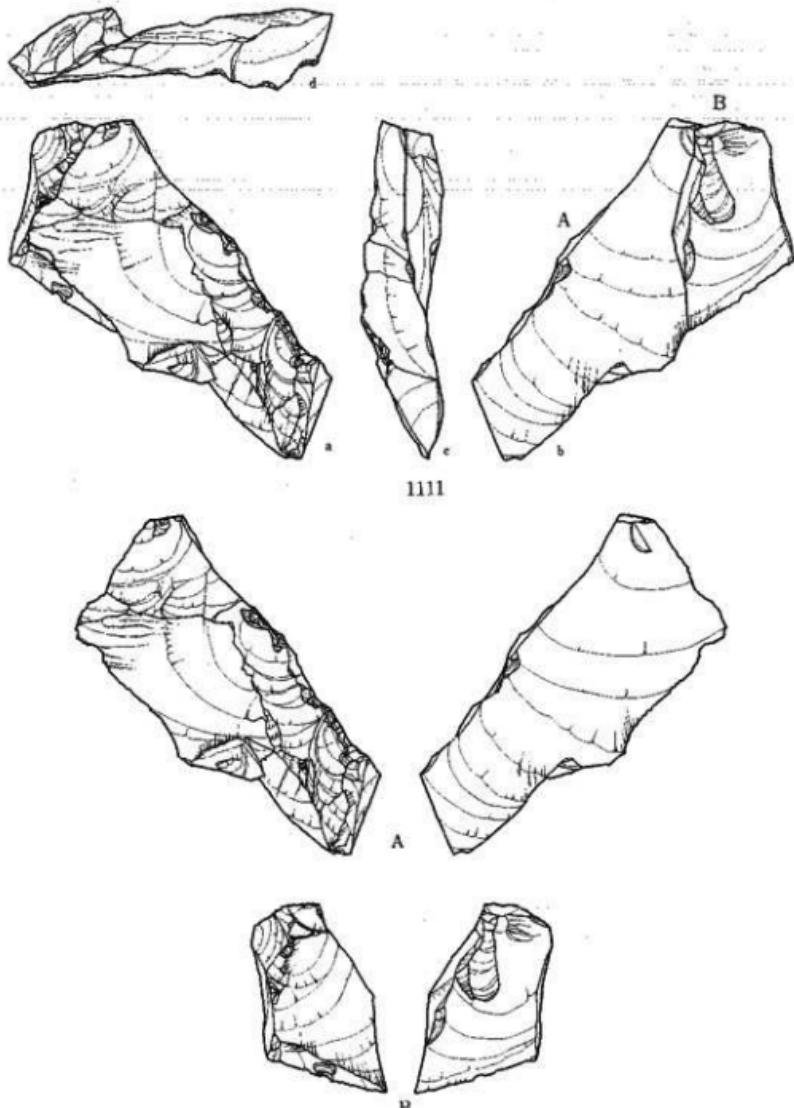


第198図 遺構外出土石器(53)

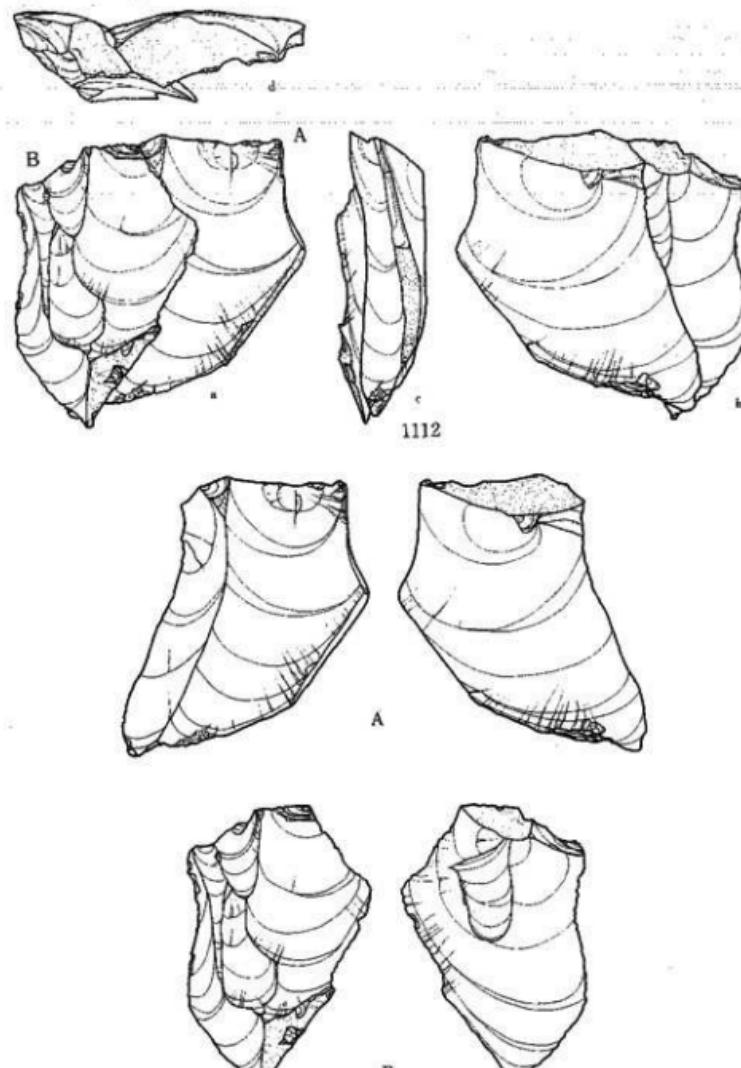


番号	出土位置	器種	長さ	幅	厚さ	重量
1109A	M A 50	刮片	3.8	3.7	0.9	10.6
B	L F 40	刮片	4.5	3.5	1.5	20.9
1110A	L S 40	刮片	9.4	5.4	2.2	96.5
B	M D 43	刮片	7.4	4.6	1.9	69.3

第199図 遺構外出土石器(54)

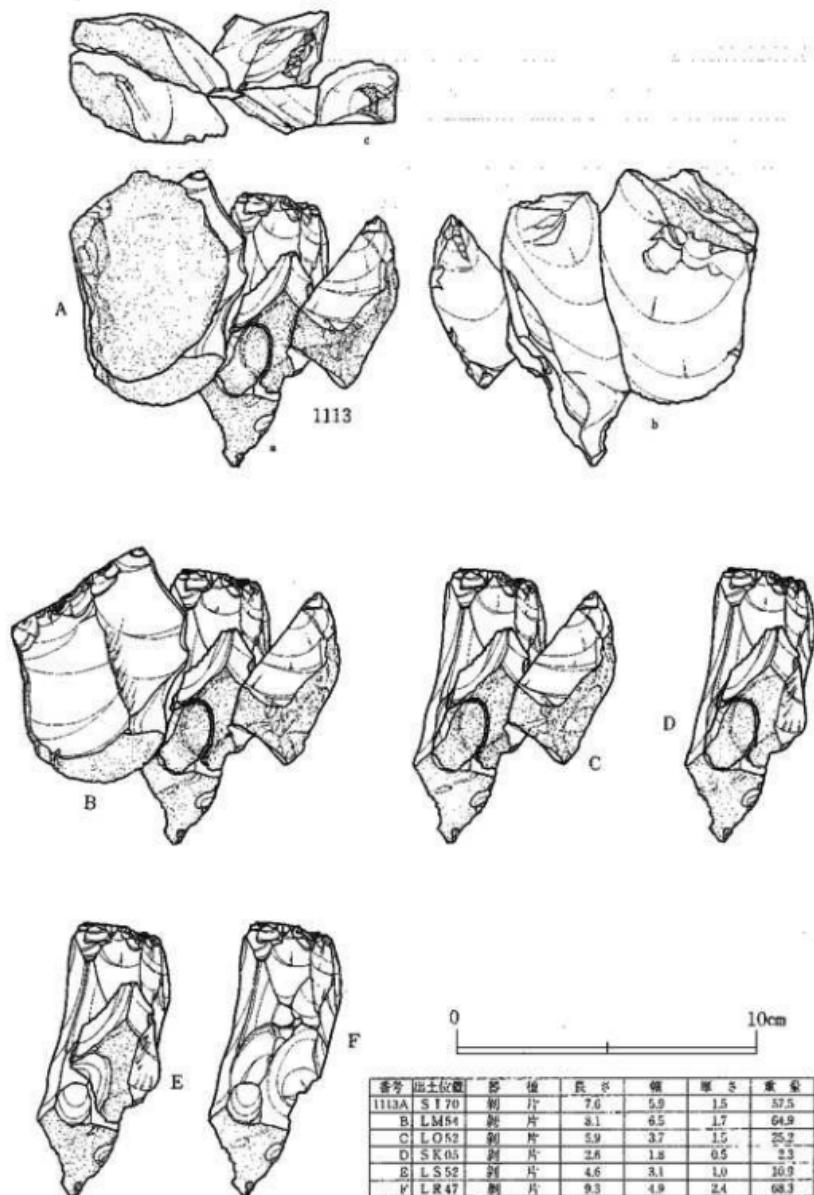


第200図 遺構外出土石器(55)

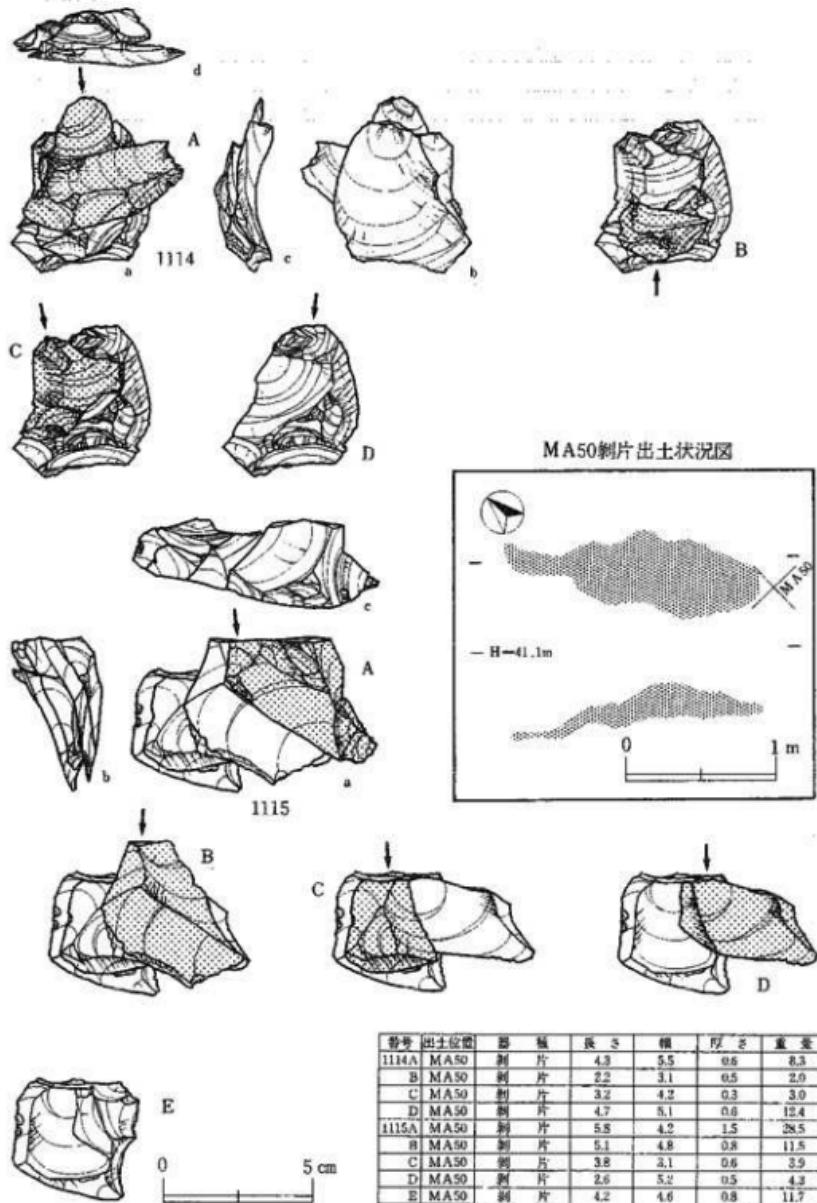


番号	出土位置	器種	長さ	幅	厚さ	重さ
1112A	MB45	刮片	9.3	8.2	2.5	114.7
B1	LPS0	刮片	9.4	5.1	3.0	90.1

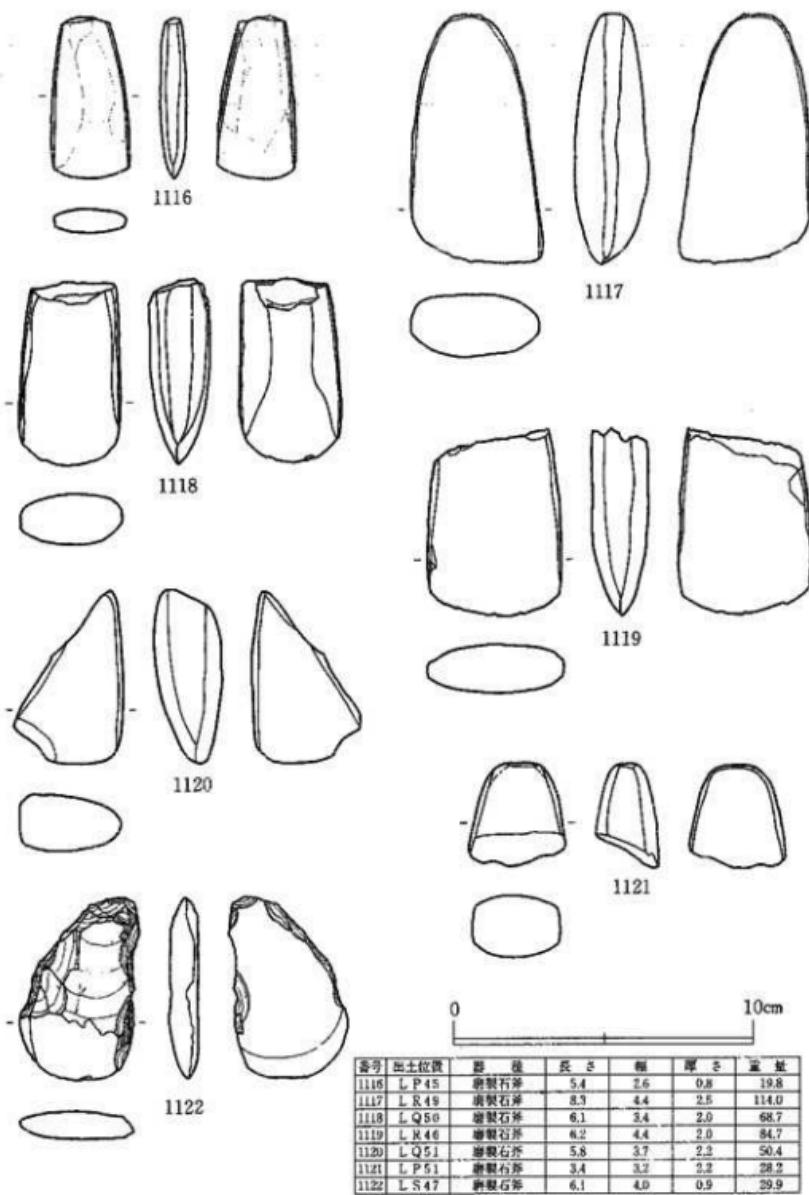
第201図 遺構外出土石器(56)



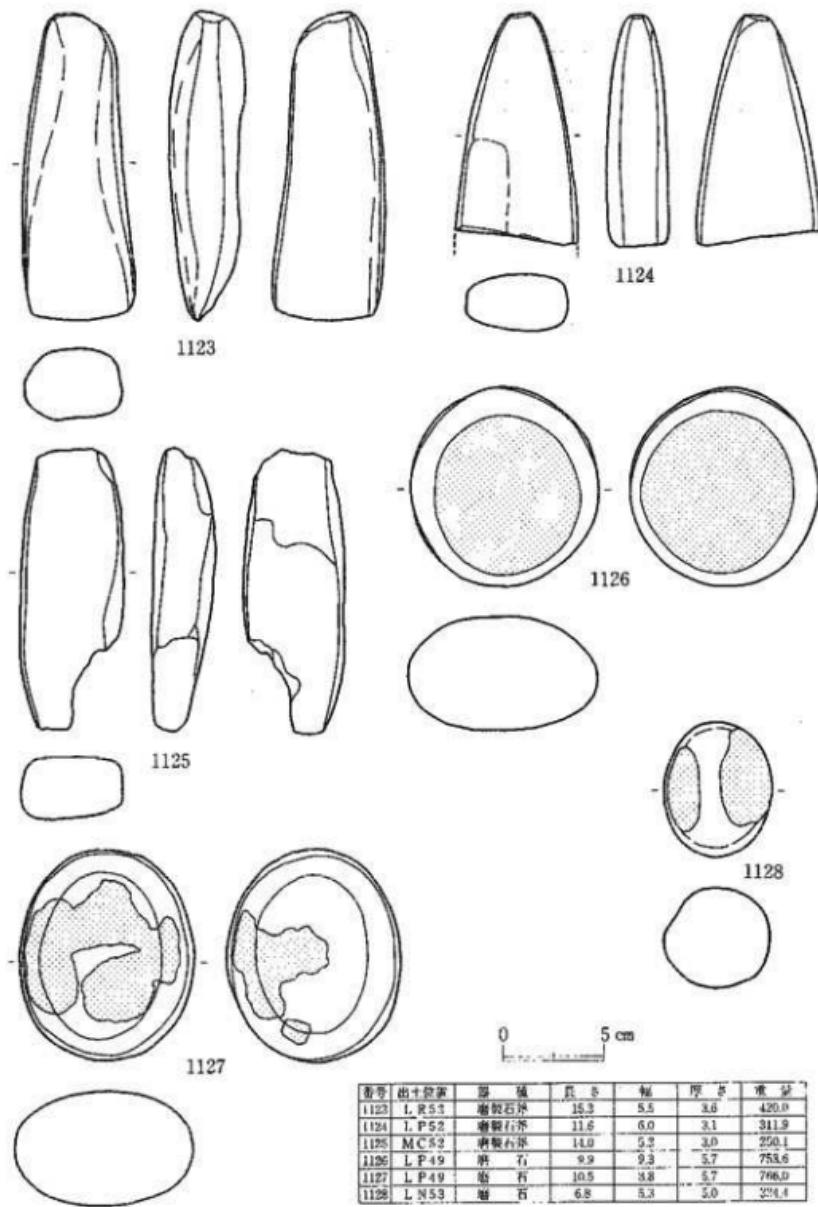
第202図 遺構外出土石器(57)



第203図 遺構外出土石器(58)

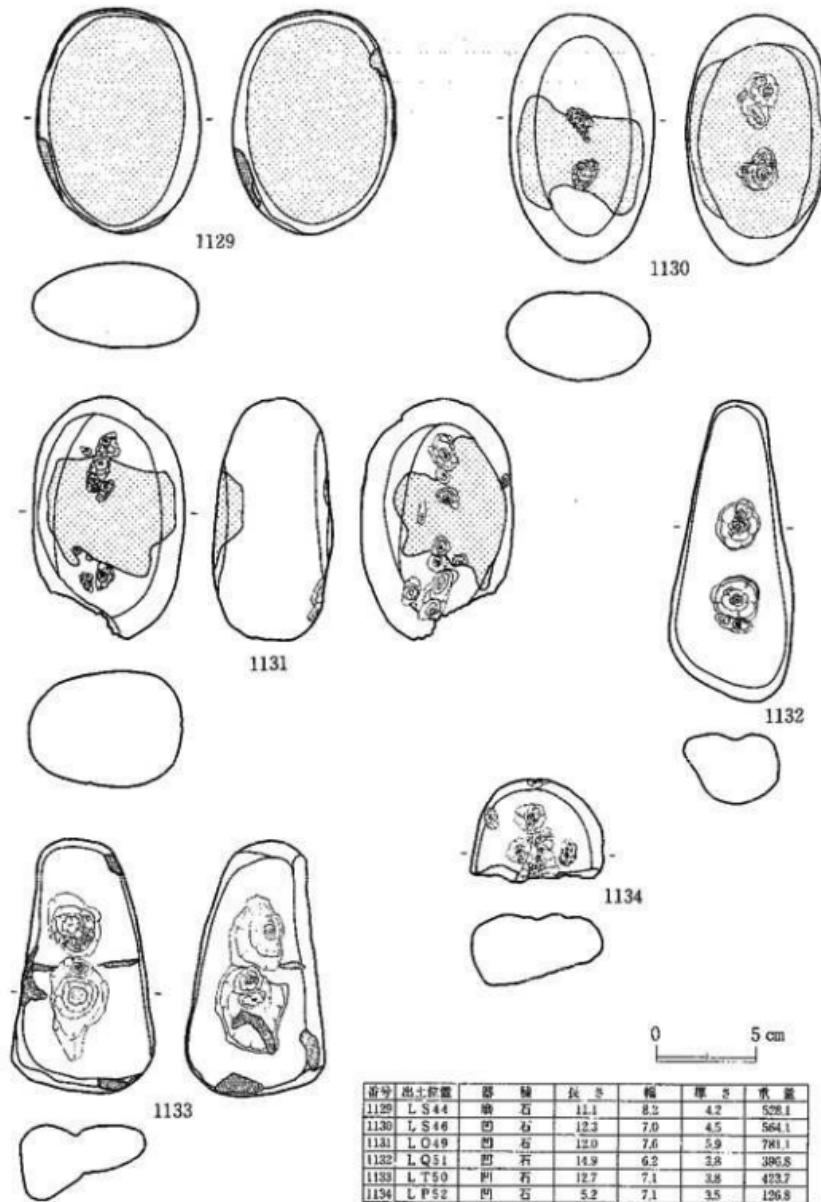


第204図 遺構外出土石器(59)

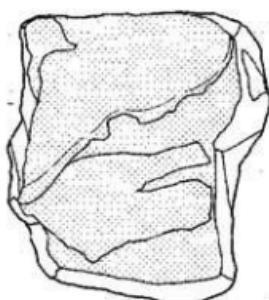


第205図 遺構外出土石器(60)

番号	出土位置	断面	長さ	幅	厚さ	重さ
1123	L R5.3	磨製石斧	15.3	5.5	3.6	420.0
1124	L P5.2	磨製石斧	11.6	6.0	3.1	311.9
1125	M C5.2	磨製石斧	14.0	5.2	3.0	250.1
1126	L P4.9	磨 石	9.9	9.3	5.7	753.6
1127	L P4.9	磨 石	10.5	3.8	5.7	766.0
1128	L N5.3	磨 石	6.8	5.3	5.0	224.4



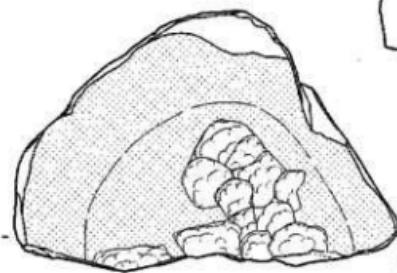
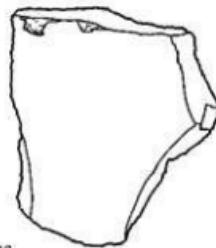
第206図 遺構外出土石器(61)



1135



1136



1137

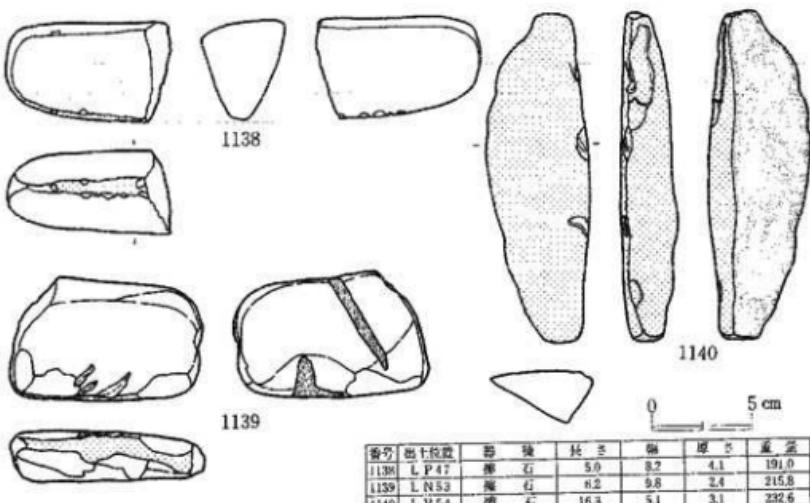


0

20cm

番号	出土位序	器種	長さ	幅	厚さ	重さ
1135	L Q 52	石	19.4	17.2	5.2	2840.0
1136	L P 47	石	11.8	10.2	5.7	994.2
1137	L Q 46	石	12.7	19.2	4.4	1363.1

第207図 遺構外出土石器(62)



第208図 遺構外出土石器(63)

て凹んでいる。

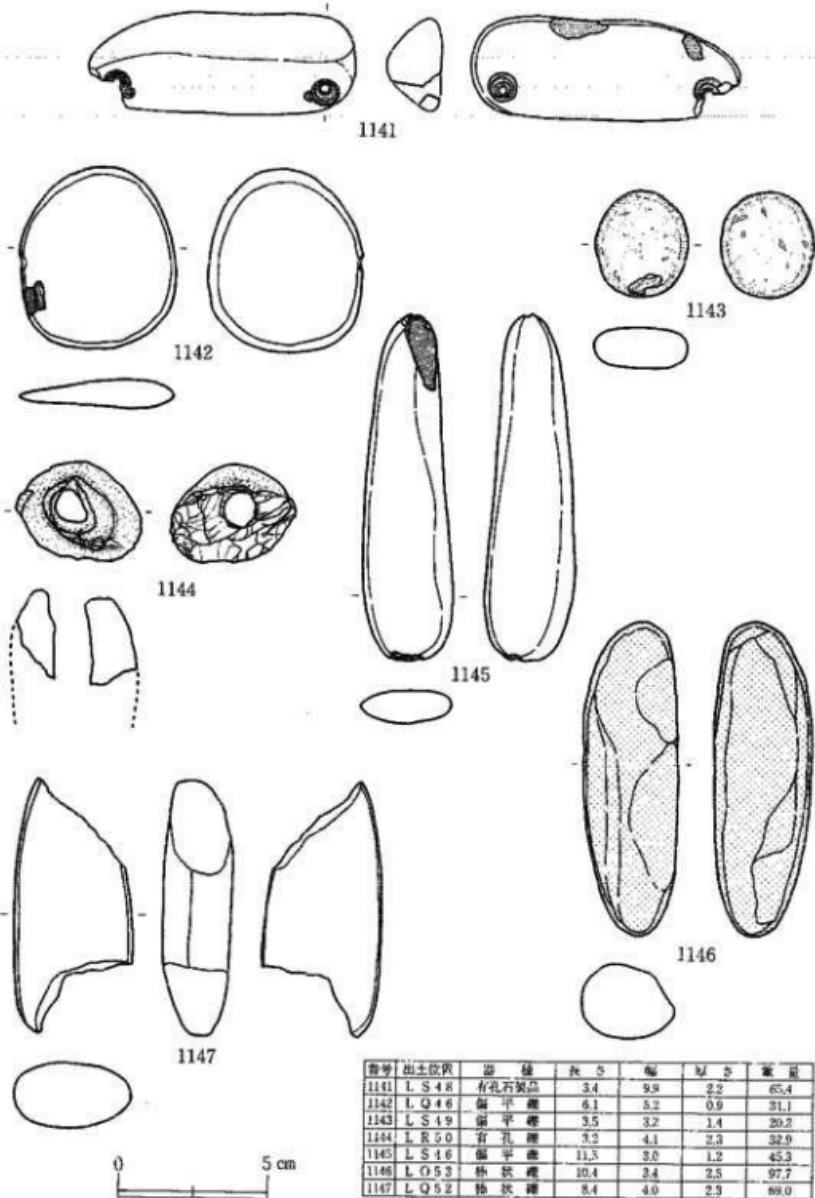
1149・1150も表裏両面が磨かれている。

小 結

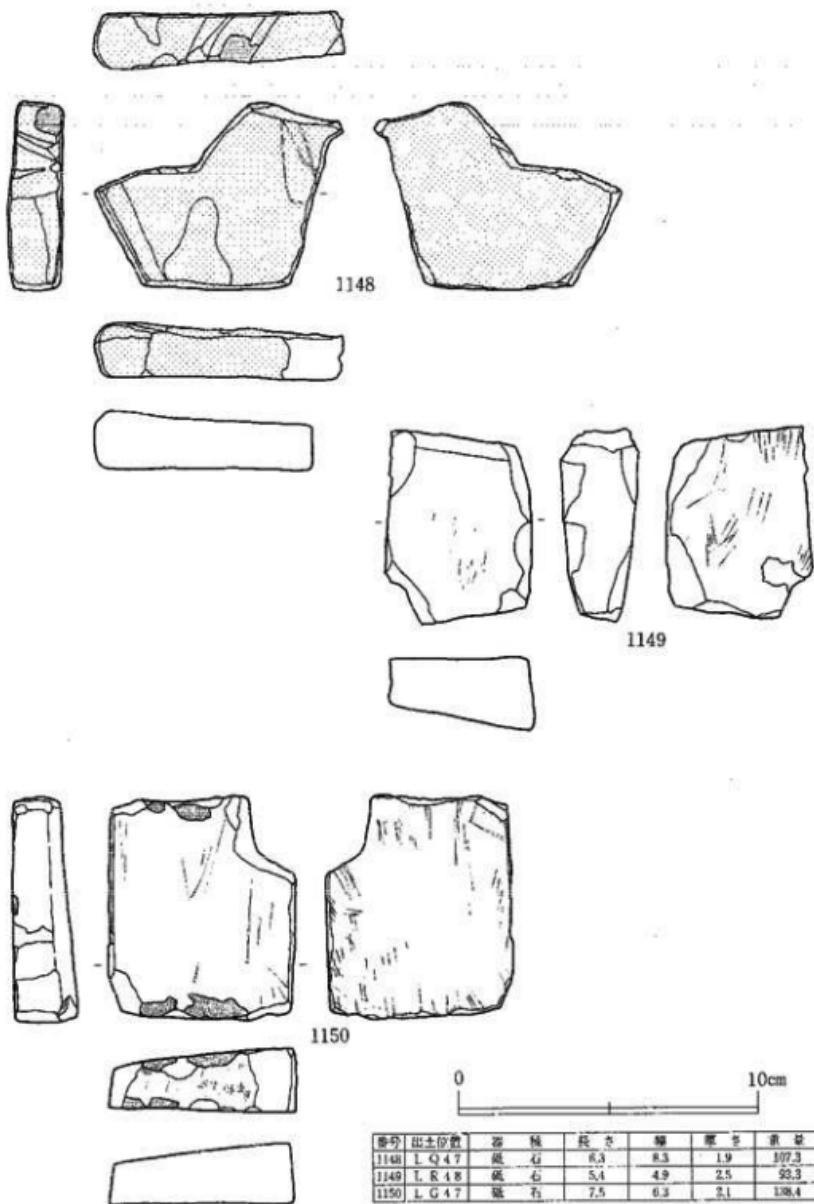
石器類の器種別、出土地点別の点数は第4～8表に示した。また、第9・10表は接合資料の一覧表である。剝片と礫を除くと、遺構内・外を合わせた石器類の点数は538点である。

石器類の特徴として以下のようなことがある。

石核は538点中95点で17.7%と高い比率を占める。出土石器全体の中でも剝片、不定形石器に次ぐ数である。また、石器類の接合資料が多い(70件)。接合資料の中には同一グリッドまたは隣接グリッドで出土したものが接合する例と、離れたグリッドや遺構から出土したものが接合するものがある。さらに、石器類がまとめて出土したブロックが9か所(A: MB45、B: MD43、C: ME45・MD45、D: ME43、E: MB48、F: LS53、G: LO49・LP49・LP50・L P51・LQ49、H: MA50、I: LF40)、剝片とチップをまとめて投げ入れた土坑が2基(SK31・72)、竪穴住居跡内で剝片貯蔵が認められたものが2軒(SI73・75)ある。石器類出土ブロック間で接合した剝片もある。Aブロックは大型剝片の貯蔵(埋納)場所と考えられる。MB45グリッドの第168図～第170図1034、第195図1103の接合資料から、Aブロックから石器製作場所であるLQ49、LP49を中心とするGブロックに大型剝片が持ち込まれ石器に加工されたことが推



第209図 遺構外出土石器(64)



第210図 遺構外出土石器(65)

出 土 地 点	石 器												石	剥 片	石 器 分 類	理 化 合									
	剥 片				石 器				理 化 合																
	石 片	石 器	剥 片	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器													
福 島 内	2	3	2	1	3	1	23	14	48	2	23	8	12	1	46	94	10 577 2	1	1	684					
福 島 外	3	4	2	12	5	14	1	21	37	19	10	25	17	3	3	1	84	280	40 1,777 93	16 1	19 2	2,242			
石器合計	5	4	4	14	6	17	2	144	51	247	12	48	33	29	4	3	1	130	377	50 1,776 95	16	11	2	2,926	
組成A(%)	0.2	0.1	0.1	0.5	0.2	0.6	0.1	4.9	1.7	(8.4)	0.4	1.6	1.1	1.0	0.1	0.1	0.1	(44)	(12.8)	1.7 31 2 32	0.5	0.1	0.4	0.1	(0.5)
組成B(%)	1.0	0.8	0.8	2.9	1.2	3.5	0.4	29	16.3	(50.6)	2.5	9.8	6.8	5.9	0.8	0.6	0.2	(28.6)	(77.2)	/	13.3	/	/	/	/

⑨組成Aは、石器個数に対する比率。組成Bは、剥片と理化を除いた485個に対する比率。

第4表 石器組成表

出 土 地 点	石 器													石	剥 片	石 器 分 類	理 化 合			
	剥 片				石 器				理 化 合											
	石 片	石 器	剥 片	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器							
SB 22					2	2	3	1	2					6	8	1			9	
SB 30		1			1		2								2		3		5	
SB 32			1	1	1	3			2					2	5	2	6		13	
SB 40															1				1	
SB 51															2				2	
SB 62															2				2	
SB 89															2				6	
SB107															4				6	
SI 01	1				1	2	1							1	3		3		6	
SI 20			2		2		3							3	5		10		15	
SI 33	1	1	1	4	1	7								7		24			31	
SI 70	1		1	1	1	5	12	1	2	2	4	1		10	22	2	43	1	1	68
SI 73						4	4	2	2	1				5	9	3	34		46	
SI 75	1	1			4	6	2	1						3	9		24		33	
SI 81					1	2	3							3			28		31	
SK 05								1	1					2	2		3	1	6	
SK 06					1	1	1							1	2		8	1	11	
SK 08																	1		1	
SK 31															2	369			371	
SK 72			1	1										1					1	
SK 86																			1	
SK 95							2							2	2				2	
SK 96					3	3	1							1	4				4	
SX 103								1						1					1	
不明							2							2	2		15		17	
合 計	2	2	2	1	3	1	23	14	48	2	23	8	12	1	46	94	10 577 2	1	1	684

第5表 遺構内石器出土数一覧表

出 土 地 点	石器										種 類 合 計	片 石 器 の 合 計	利 用 度 合 計	石 器 種 類 合 計	分 類 合 計	施 工 形 式 合 計	施 工 方 式 合 計							
	制 作 石 器			石 器				石 器																
	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器	石 器														
L E 38																		1						
L F 39																		2						
40																		1						
41																		2						
L G 40																		1						
45																		2						
47																		1						
L I 48																		2						
39																		1						
40																		1						
44																		1						
L J 52																		1						
L K 38																		1						
51																		1						
52																		2						
53																		2						
L L 42																		1						
44																		1						
51																		2						
52																		3						
53																		1						
L M 46																		1						
52	1		1	2								2	-	2				4						
53														1	-			1						
54														1	1			2						
L N 46																		5						
47												1	1					1						
48		2	2					1				2	1					3						
50								1				1	1	3	1			5						
51												3	1					4						
52								1				1	1	1	2			4						
53								1				2	3	3				6						
54	1		2	3							3	14	1					18						
55	1		1	2							2	25	1					27						
L O 46														1	2			3						
47			1	1								1	1	6				8						
48		1	2	3				1			1	4	19	3				26						
49		1	1					1			1	2	32					34						
50	1		1	3	1			1			1	4	7	2				13						
51								1			1	1	1	8				10						
52			1	1							1	1	9	1				12						
53			2	2				1			1	3	5					9						
54		1	3	4				1			1	5	2	15				22						
55											1	7	1					9						
56											1	3						3						
L P 40														1				1						
41												1	1	1				2						
44				1	1							1	1	29				24						
45			1	1	1						1	2	2	2				6						
46			2	1	3						1	3	4	1				8						
47		1	1	2	3	1	1	1			4	6	7	2				15						
48		1	3	4							4	9						13						
49		3	1	4			2	1			5	7	2	185	11			206						
50			3	11	1						1	12	1	35	2			51						
51	1	1	1	3	9	1	1				2	11	34					45						
52			1	4	5	1		1			2	7	10					17						
53			2	2							2	1						3						
54			1	1							1	8						9						

第6表 造橋外石器出土数一覧表(1)

第4章 調査の記録

出 土 地 点	石 器											石 器 分 類	標 識 合 計		
	刮 片			石 破			研 磨			刮 片					
	石 器 種 類	石 器 形 状	石 器 部 分	石 器 種 類	石 器 形 状	石 器 部 分	石 器 種 類	石 器 形 状	石 器 部 分	石 器 種 類	石 器 形 状				
L P 55				1	2				4	3	3		6		
56				1	1				1				1		
L Q 42										2	3		5		
43											1		1		
44										2			2		
45			1	1					1	3			4		
46			2	2	2	1		3	5	2	3	1	11		
47			3	3			1	1	4	1	18	2	26		
48			2	2					2		14	1	17		
49			4	1	5	1		1	6	2	215	8	231		
50					1				1	1	14		15		
51				2	1	1	1	1	3	5	1	17	2		
52			3	3	2			3	5	9	1	1	2		
53			1	1	2				2		11		13		
54			3	2	5	3		3	8	3	19	1	31		
55			2	1	3	3		3	6	1	11		18		
56					1			1	1		1		2		
L R 39										3			3		
40			1	1					1				1		
41										1			1		
43			1	1					1	3			4		
44										1			1		
45	1	1		1	3				2	6	2	1	12		
46			2	2	1	2		3	5		15		20		
47			1	1				1		2			3		
48					1			2	2	5		1	8		
49	1	1	2	2	6	1		1	7	1	8		16		
50			1	1		1		1	2	5	1	1	9		
51			2	2		1	1	2	4	5			9		
52					1			1	1	10	1		12		
53										1	1	1	3		
54			2	2		1		1	3	1	13	1	18		
55	1	1		2	2	1		2	4		16		20		
57										4			4		
L S 40			1	1					1	3	1	1	6		
43										1			1		
44						1			1	1	1	4	6		
45									1	2	1		4		
46		1	3	1	5	1	2	1	3	8	1	8	18		
47			1	1	1				1	2	8	1	11		
48	1		1					1	1	1	1		4		
49	1		1			1		1	2	5	2	1	10		
50			1	1	2			2		2			4		
51										4			4		
52										5			5		
53	1		2	3		1		1	4	12	31	4	41		
54		1		1				1					1		
55										2			2		
57				1	1				1	1			2		
59			1	1					1				1		
L T 39											5		5		
40										2			2		
41										1			1		
42					1			1	1	2			3		
43										2			2		
45			1	1				1	3				4		
47			2	2				2		4			6		
48			2	2				2	4				6		
49										11	1		13		
50						1	1		2	2	6		8		

第7表 遺構外石器出土数一覧表(2)

第4表 調査の記録

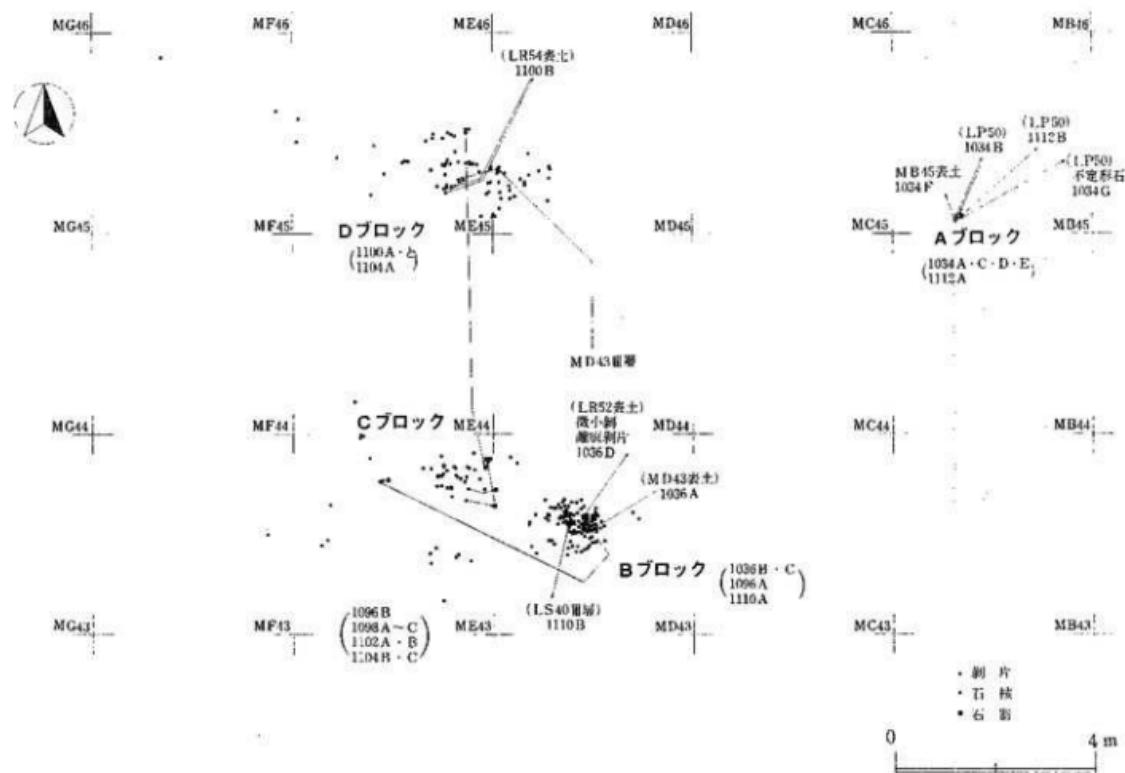
番号	相應層	出土地点	帶位	器種	遺物番号	番号	相應層	出土地点	帶位	器種	遺物番号	
1	折	S133			191	10	SK31			刮片		
	折	L052	3	微小剥離痕刮片	*	2		*	*			
2	折	S133		不定形石器	192	3	*	*				
	折	L054	2	*	*							
3	1	S133		刮片		11	SK31			刮片		
	2	LP51		*		12	2	*	*			
	3	S133		*		13	2	*	*			
	1	S173		刮片	440 A	14	SK31			刮片		
	2	*	*	*	* B	15	2	*	*			
	3	*	*	*	* C	16	1	SK31		刮片		
4	4	*	*	*	* D	17	2	*	*			
	5	*	*	*	* E	18	1	SK31		刮片		
	6	*	*	*	* F	19	2	*	*			
	7	*	*	*	* G	20	1	LQ49	3	刮片	1010 A	
	8	*	*	*	* H	21	2	LQ55	2	二次加工刮片	* B	
	9	*	*	*	* I	22	1	MB45	1	刮片	1034 A	
	10	*	*	*	* J	23	2	LP50		*	* B	
5	1	LQ51	3	刮片	513 A	3	MB45	3	*	*	* C	
	2	SK95		*	* B	4	*	*	*	*	* D	
A-1	SK31			刮片	536 C	5	*	*	*	*	* E	
-2	*	*		*	* D	6	*	1	*	*	* F	
-3	*	*		*	* E	7	LP50	3	不定形石器	*	* G	
-4	*	*		*	* I	8	1	LQ44	1	微小剥離痕刮片	1035 A	
-5	*	*		*	* J	2	*	*	刮片	*	* B	
B-1	*	*		*	* A	3	*	*	*	*	* C	
-2	*	*		*	* B	4	*	*	*	*	* D	
-2折	*	*		*	*	9	1	MD43	1	刮片	1036 A	
B-3	*	*		*	* F	2	*	*	*	*	* B	
C-折	*	*		石核	* K	3	*	*	*	*	* C	
折	*	*		*	*	4	1	LP52	1	微小剥離痕刮片	*	* D
1	SK31			刮片	536 A	10	1	MC47		刮片	1037 A	
2	*	*		*	* B	2	2	L553		二次加工刮片	*	* B
3	*	*		*	* C	3	*	*	*	*	* C	
4	*	*		*	* D	4	1	LP52	1	微小剥離痕刮片	*	* D
5	*	*		*	* E	11	1	MC47		刮片	1038 A	
6	*	*		*	* F	2	2	LQ49	3	石核	*	* B
7	*	*		*	* G	12	1	MD43		刮片	1039 A	
8	*	*		*	* H	13	1	ME43		石核	*	* B
9	*	*		*	* I	14	1	ME43		刮片	1040 A	
10	*	*		*	* J	15	2	ME43	3	刮片	*	* B
11	*	*		*	* K	16	2	*	*	*	* C	
12	*	*		*	* L	17	3	*	*	*	* D	
13	*	*		*	* M	18	1	ME45		刮片	1041 A	
14	*	*		*	* N	19	2	ME45	1	*	*	* B
15	*	*		*	* O	20	3	ME45		石核	*	* C
16	*	*		*	* P	21	1	ME45		刮片	1042 A	
17	*	*		*	* Q	22	2	*	*	*	* B	
18	*	*		*	* R	23	3	*	*	*	* C	
19	*	*		*	* S	24	1	ME45		刮片	1043 A	
8	地	S120		刮片		25	2	LH54	1	*	*	* B
	地	LS47		*		26	3	ME45		石核	*	* C
9	1	S170	3	刮片		27	1	ME43		刮片	*	* B
	2	LP49	3	*		28	2	*	*	石核	*	* C
						29	3	*	*	石核	*	* B

第9表 石器接合資料一覧表(1)

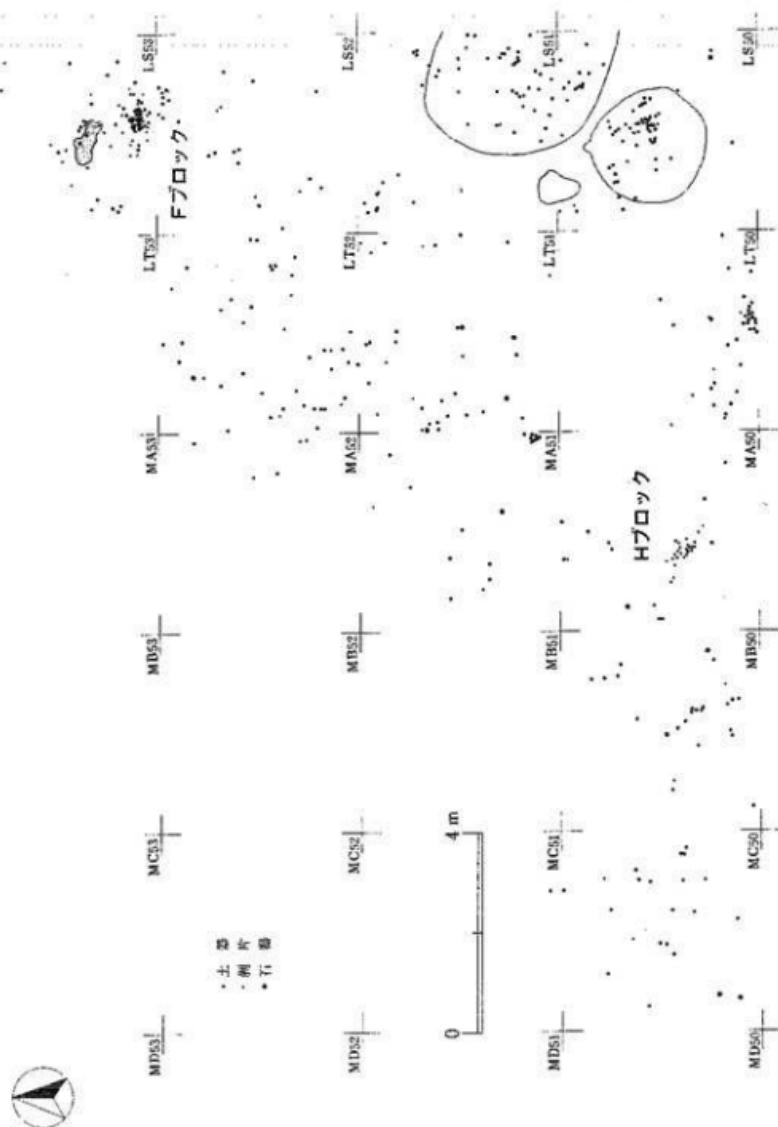
第2節 A区の遺構外出土遺物

番号	測量点	出土地点	層位	器種	遺物番号
20	1	LP50	石核	1103 B	
	2	*	剥片	A	
31	1	MA45	分離塊	1104 A	
	2	ME45	*	B	
	3	*	石核	C	
32	1	LP40	剥片	1106 A	
	2	LN54	* 分離塊	C	
	3	LO52	剥片	B	
	4	LR54	石核	D	
33	1	MA50	剥片	1109 A	
	2	LF49	*	B	
34	1	MD43	剥片	1110 A	
	2	LS40	*	B	
35	1	LS53	剥片	1111 A	
	2	MD45	*	B	
36	1	LP50	剥片	1112 A	
	2	ME45	*	B	
37	1	SL76	剥片	1113 A	
	2	LM54	*	B	
	3	LO52	*	C	
	4	SK45	*	D	
	5	LS52	*	E	
	6	LR47	*	F	
38	1	MA50	剥片	1114 A	
	2	*	*	B	
	3	*	*	C	
	4	*	*	D	
39	1	MA50	剥片	1115 A	
	2	*	*	B	
	3	*	*	C	
	4	*	*	D	
	5	*	*	E	
40	1	LN50	3 剥片		
	2	LP46	1 *		
	3	食器	石核		
41	1	LO48	3 石核		
	2	LAQ49	2 剥片		
	3	LAQ47	2 石核		
42	1	LP49	1 剥片		
	2	LK53	2 石核	1059	
43	1	LOQ47	2 剥片		
	2	LP49	3 *		
44	1	LNQ47	2 剥片		
	2	LP49	3 *		
45	1	LOQ47	1 剥片		
	2	*	*		
	3	ME45	*		
46	1	LAQ51	3 剥片		
	2	食器	*		
47	1	MD45	3 不定期石器	1060	
	2	*	* 石核	1061	
	3	ME45	剥片		
48	1	MF46	剥片		
	2	MD43	1 *		
	2	MD45	3 *		
49	1	LO47	3 剥片	1079	
49	2	LO45	1 石核	1079	
	1	LP49	剥片		
	2	LQ49	1 *		
50	3	LP49	3 *		
	4	*	*		
	5	LQ49	*		
51	1	LQ52	1 剥片		
	2	LN53	*		
52	1	LQ49	3 不定期石器	1014	
	2	LP49	*		
53	1	LQ49	3 剥片		
	2	LP49	1 石核		
54	1	UT45	3 剥片		
	2	MA45	1 *		
55	1	MC47	剥片		
	2	MC45	*		
	1	MD45	3 剥片		
56	2	*	*		
	3	ME45	*		
57	1	LN55	1 剥片		
	2	*	2 *		
	1	LP44	1 剥片		
58	2	*	*		
	3	*	*		
59	1	LP44	1 剥片		
	2	*	*		
	1	LP49	3 剥片		
60	2	*	3 *		
	3	*	1 *		
61	1	LP50	3 剥片		
	2	*	*		
	3	*	*		
62	1	LQ47	2 剥片		
	2	*	*		
63	1	MA50	剥片		
	2	*	3 *		
	3	*	*		
64	1	MA50	剥片		
	2	*	*		
65	1	MA50	剥片		
	2	*	*		
66	1	MA50	剥片		
	2	*	*		
67	1	MA50	剥片		
	2	*	*		
68	1	MC47	剥片		
	2	*	1 *		
	3	*	*		
69	1	MC47	剥片		
	2	*	1 *		
70	1	ME45	3 剥片		
	2	*	* 石核		

第10表 石器接合資料一覧表(2)



第211図 石器集中出土地点(1)



第212図 石器集中出土地点(2)

測される。

西側斜面で検出したA～Dブロックのうち、Bブロックには剝片が多く、Cブロックには石核や製品が多い。接合関係を考慮するとブロック形成の順番はB→D→Cと考えられ、最終のC以外のB・Dから供給された剝片がLR52、LR54グリッドから出土している。おそらくもっと多數の目的的剝片も居住域=生活域へ供給されたことと推測される。いずれも剝片石器の素材となる剝片生産に関わるブロックである。

居住域から遠く離れた集落を見下ろす尾根上のIブロックからは石核と剝片が出土し、居住域から出土した剝片や分割砾と接合した。居住域に素材を持ち込む以前の工程として、集落近くの尾根上などで一度礫皮面の剥ぎ取りあるいは多少の剝片剥離を行い、半加工素材の状態で集落内に持ち込んでいた可能性もある。

SI73堅穴住居跡一括出土剝片は、剝片石器の素材を住居内に貯蔵していたと考えた場合、その大きさから小型の不定形石器または石鎚の素材と考えられるが、本遺跡の不定形石器は小型のものが少なく、一括出土剝片のすべてが不定形石器に適するわけではないので、石鎚の素材の可能性が高い。本遺跡から出土した石鎚がきわめて少ないと考え合わせれば、日常的に多量に石鎚を消費するような生業形態ではなく、必要な時になって貯蔵してある剝片のいくつかに二次加工を施して石鎚を作り用いたものとも考えられる。したがって石鎚を使用する狩猟は非日常的な行為で、それ以外の手段で動物性食料を得ていたものと推測される。

剝片石器の中では不定形石器が538点中144点で58.2%と最も多く、石匙と微小剝離痕のある剝片を含めると538点中214点で86.6%を占める。一方石鎚、石槍はきわめて少ない。これは遺跡内で行われた作業の中心が、削る、搔き取る、切るといった加工作業を中心であったことを示す。作業内容は、衣・住に関わる生活に必要な物資の加工、及び動物性食料の加工が推定される。礫石錐が1点も出土しなかったことから対象動物は陸上動物が主体と推測される。

石皿、磨石、凹石は遺構外より遺構内、建物跡から多く出土した。これらは敲きつぶす、磨りつぶす機能を有するものとも解釈できるので、作業内容としては堅果類等の植物性食料の加工が想定される。また上ノ山II遺跡で出土した食料の炭化物のような堅果類と獸肉を混ぜ合わせたような食料に加工する際にも用いられたのであろう。

第3節 B区の出土遺物

B区は沖積地内の埋没微高地に立地し、原地形は起伏が激しかったと思われるが、現在の地表面は水田造成によって平坦になっている。遺構はなく、遺物は縄文土器、石器、陶磁器、古銭が出土した。水路を挟んだ西側は地山面がよく残っているが、東側は地山面を削平しており、表土直下が明黄褐色粘土の地山である。地山面は調査区の東側から西側に向かって起伏しながら全体に緩く傾斜している。調査区南側は小友川の侵食によって急激に落ち込み砂礫層及び粘土層が互層となって厚く堆積する。

基本層位は1：表土、2：黒褐色土、3：明黄褐色土またはオリーブ灰色土（地山）の3層で、陶磁器、古銭、剝片の一部は表土から出土した。これらは廃棄の時点の原位置をとどめるものではなく、川の氾濫、耕作土の搬入等により出土地点まで運搬されて来たものである。それに対して耕作、削平の及んでいない調査区東側の2層中に含まれる縄文土器、石器類はほぼ廃棄時の原位置をとどめていると思われる。

1 縄文土器

3個体分が出土した。第213図1151・1156はR LとL Rの撲紐を二本一組にして軸に巻きつけた結条体回転押圧文である。1152～1155は櫛歯状工具による多条沈線文で曲線的な文様を施している。いずれも胎土に纖維を含む。磨滅が著しく図示できなかったものは小型の底部破片である。1152～1155は諸磯c式に類似し、前期後葉の土器と思われる。

2 石器

種類別出土数は第11表に示した。

石錐（第215図1168）は凹基無茎錐で、やや大型である。不定形石器は石器の中では最も多く27点出土した。剝片の一側縁に刃部を作出し、他の縁に刃つぶしを施すものが多い。1167は背面右側縁に刃部を作出し、左側縁に刃つぶしを施す。1169は剝片の末端に急角度の丸凸刃を作出している。1170は表裏全面に二次加工を施すが刃部は形成されていない。

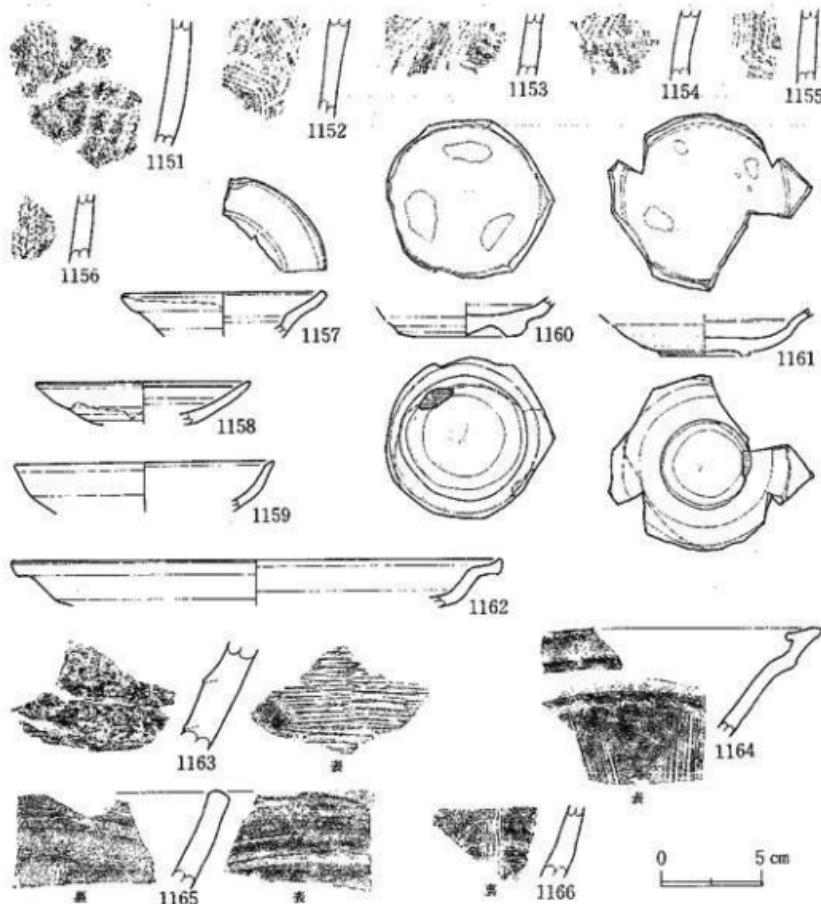
1171は石核で、a面を作業面とし周縁から求心的な加整によって剝片剥離を行った後、a面を打面としてb面からも剝片を剥ぎ取っている。c面とd面には自然面が残る。

石錐は1172の他にも1点出土した。いずれも小型で板状の円錐の両端を打ち欠いたものである。

3 陶磁器

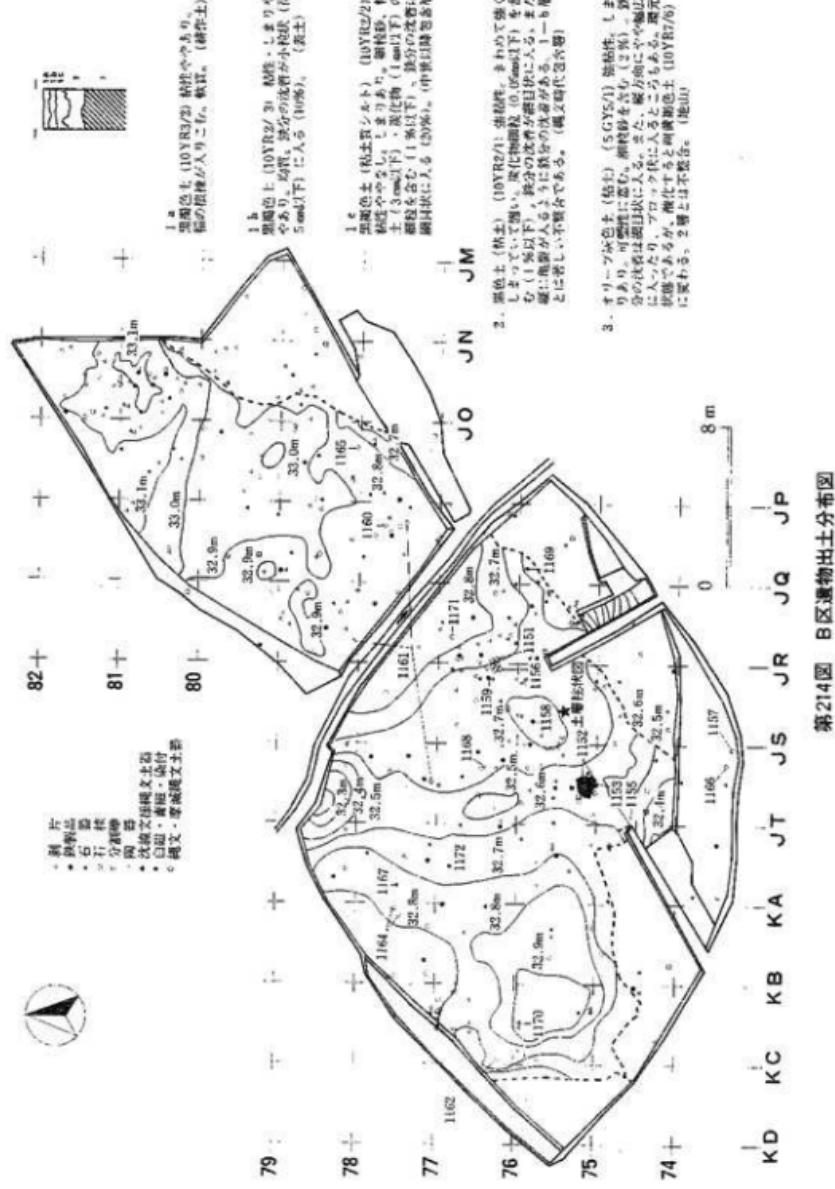
中世から現代のものまで109点出土した。ほとんどが小破片である。唐津系36点、染付21点、青磁11点、白磁7点、珠洲系4点、志野1点、美濃・瀬戸系1点、その他28点である。

1157・1158・1160～1162は唐津系で、1157・1160・1161は体部中央に段のある皿である。1157



番号	出土位置	種類	器種	時期	文様・技法など
1151	B区J R76	縄文	深鉢	古期	R.L.+L.R 縦条作目板押印施文
1152	B区J S76	+	+	+	備塗状沈底文
1153	B区+	+	+	+	+
1154	B区+	+	+	+	+
1155	B区+	+	+	+	+
1156	B区J S76	+	+	+	R.L.+L.R 縦条作目板押印施文
1157	B区J S73	磨漆系	豆	近世	口部に凹み。有段。
1158	B区J R75	+	+	+	「口縁内面に黒褐色の模」
1159	B区J Q77	骨	筒	+	妙に積み。有段。
1160	B区J P77	磨漆系	豆	+	妙に積み。有段。
1161	B区J Q78	+	+	+	妙に積み。有段。
1162	B区K B76	+	+	+	+
1163	B区表 挿	漆	小鉢	?	?
1164	B区KA27	漆	豆	近世	おろし目あり。LI漆絞のみ褐色地。
1165	B区J O78	漆	豆	中世	?
1166	B区J S73	+	+	+	?

第213図 B区出土遺物(1)



第4章 調査の記録

の口唇部は外側から押えた凹みがあり、五輪花様のつくりの可能性がある。1158は口縁部内面に黒褐色の線が一条めぐる。内外面とも灰緑色釉である。外面下半にはケズリ痕がある。外面の釉はそれより上位で止まる。1160の釉は灰緑色～灰色に発色する灰釉で、3カ所に砂目積みの痕跡が残る。外面の釉の一部は高台に達している。1160は灰緑色釉で内面の4カ所に胎土日積みの痕跡が残る。1159は青磁碗である。1163・1165・1166は珠洲系陶器で、1163は甕、1165・1166は鉢である。1163・1165はⅢ期後半またはⅣ期前半（13世紀後半～14世紀前半）、1166はⅡ期（13世紀前半）のものである。1164は鉢でおそらく近世の地元産のものであろう。これらその他に、寛永通宝が3枚出土した。

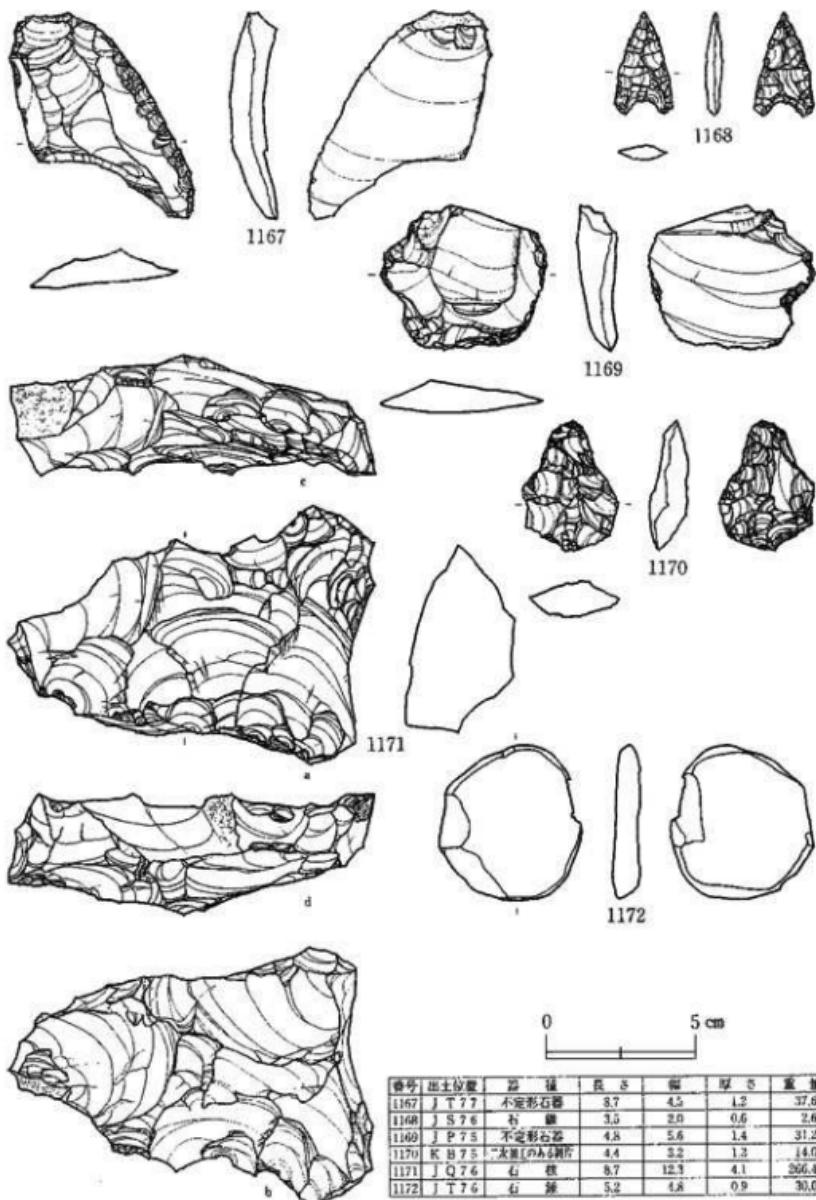
石 器 類		数
石 剝 片 石 器	石	鐵
	石	錫
	範 状 石 器	1
	ビ エ ス ・ エ ス キ 一 ユ	1
	継 型 石 錪	3
	不 定 形 石 器	27
	微 小 剥 離 痕 の あ る 剥 片	10
	剝 片 石 器 小 計	
		44
石 器	石	錫
	擦	石
	半 円 状 儂 平 打 製 石 器	1
	砥	石
	硯	1
	硯 石 器 合 計	
石 器 計		53
剝 片	二 次 加 工 の あ る 剥 片	
	剝 片	
硯	石 核	17
	分 割 砧	15
	有 孔 砧	1
	合 計	139

第11表 B区石器一覧表

繩文	前期	2
	時期不明	1
繩 文 土 器 計		3
	珠洲系	4
陶	瀬戸・美濃系	1
	志野	1
磁	唐津系	36
	青磁	11
器	白磁	7
	染付	21
	その他	28
陶 磁 器 計		109
	古錢（寛永通宝）	3

第12表 B区遺物一覧表

第3節 B区の出土遺物



第215図 B区出土遺物(2)

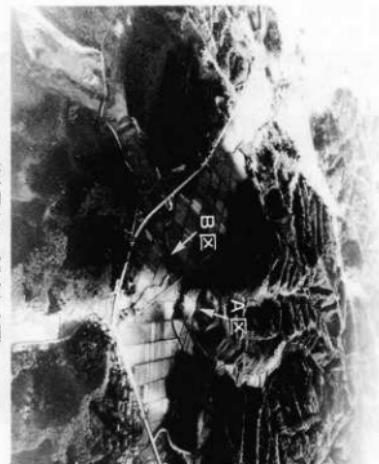
第5章 まとめ

本遺跡の発掘調査によって得られた知見は各項の小結に記述したが、まとめると以下の5点である。

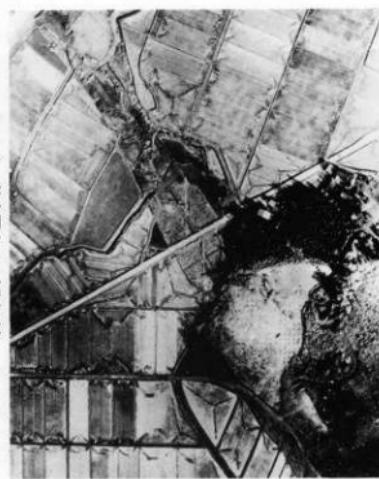
- ① 本遺跡では中期後葉の複式炉のある堅穴住居跡と建物跡が並存し、その後建物跡を主体とする集落に変わり、さらに後期初頭では土器片圓炉のある建物跡が1軒営まれるという変遷をたどる。
- ② 大木9式に後続する時期の土器は、出土状況及び文様表出技法の特徴から土器文様の変化と文様表出技法が密接に関連する。秋田県の該期土器編年は現在不十分な状態にあるので、今後さらに土器自体のもつ属性を分析するとともに出土状況を踏まえながら編年作業を積み重ねていく必要がある。
- ③ 県内で類例が散見される大杉谷式に類似した葉脈状文の描かれる土器2個体の器形と文様構成が明らかとなった。土器は後期初頭に位置づけられる。これらの土器を使用した土器片圓炉のある建物跡を検出した。
- ④ 縄文時代中期の小集落の全域とその周囲を広範囲に調査し、一集落を構成する遺構のあり方が明らかになるとともに集落の周囲には石器製作に関わる石器群ブロックや捨場があることもわかった。さらに本報告書ではできなかったが石器類の種類と出土地点や接合関係の分析から、石器類を構造的に把握する必要がある。
- ⑤ B区の調査結果から、この地域においても縄文時代前期の遺跡立地が台地上のみならず沖積地の埋没微高地にも認められることがわかった。

引用参考文献

- 池谷信之 「東北地方における縄文時代中期末葉土器の変遷と後期土器の成立」 『沼津市博物館紀要』12 1988 (昭和63年)
- 熊谷常正 「門前式土器の検討」 『岩手県立博物館研究報告』第4号 1986 (昭和61年)
- 財団法人岩手県埋蔵文化財センター 「上村遺跡・下村A遺跡・下村B遺跡発掘調査報告書」 岩手県埋蔵文化センター文化財調査報告書第56集 1983 (昭和58年)
- 井羽茂 「大木式土器」 『縄文文化の研究』4 1981 (昭和56年)
- 本間宏 「東北地方北部における縄文時代後期葉土器群の実態」 『よねしろ考古』第1号 1985 (昭和60年)
- 本間宏 「縄文時代後期初頭土器群の研究—東北地方北部を中心に—(1)・(2)」 『よねしろ考古』第3号・第4号 1987・1988 (昭和62・63年)
- 宮城県教育委員会 「七ヶ宿ダム関連遺跡発掘調査報告書 大柴川遺跡・小柴川遺跡(石器編)」 宮城県文化財調査報告書第126集 1988 (昭和63年)
- 柳沢清一 「大木10式土器論」 『古代探査』 1980 (昭和55年)
- 柳澤清一 「「大木10式土器論」續考」 『北奥古代文化』第19号 1988 (昭和63年)
- 柳澤清一 「大木9-10式土器論(上)」 『先史考古学研究』第3号 1990 (平成2年)
- 柳澤清一 「「岩木山」編年の再検討—青森県と北海道南部の中期末葉編年—」 『北奥古代文化』第20号 1990 (平成2年)



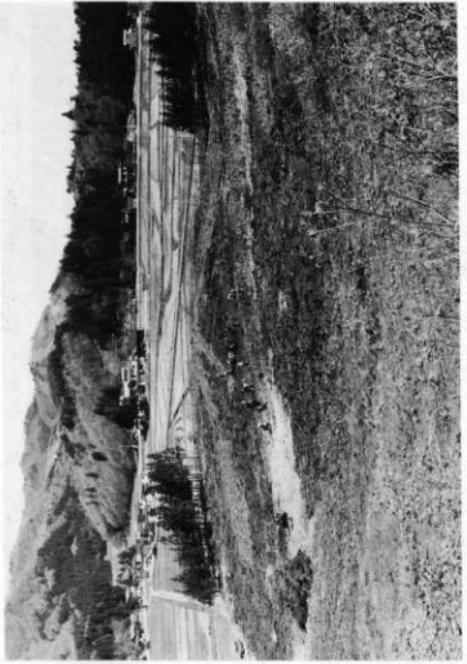
1 航空写真1 (北東→南西)



2 航空写真2 (北→南)



3 A区調査終了全貌 (北→南)



1 A区调查前近景（南▷北）



2 A区道路中央橋橋集中区域（北西▷南東）



1 A区遺跡中央部遺構集中区域（北▷南）



2 A区遺跡中央部遺構集中区域（南西▷北東）



1 S120棲穴住居跡完掘 (南西▷北東)



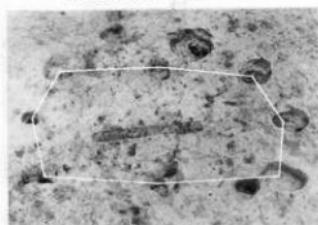
2 S120棲穴住居跡遺物出土状況 (南西▷北東)



3 SB22・30棲物跡完掘 (南西▷北東)



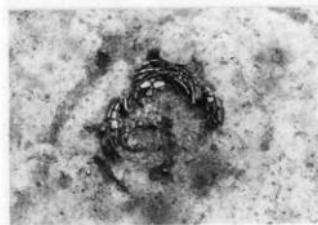
4 SB22・30棲物跡遺物出土状況 (東▷西)



5 SB32棲物跡完掘 (南東▷北西)



6 SB40棲物跡遺物出土状況 (西▷東)



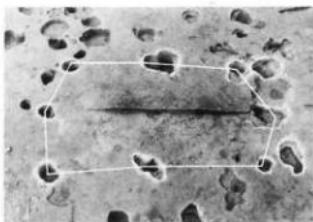
7 SB40棲物跡土器片面状 (南西▷北東)



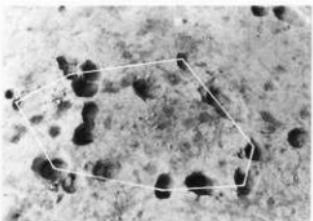
8 SB40棲物跡土器片面状 (北東▷南西)



1 SB51建物跡実測 (南>北)



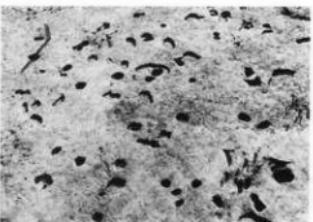
2 SB89建物跡実測 (南東>北西)



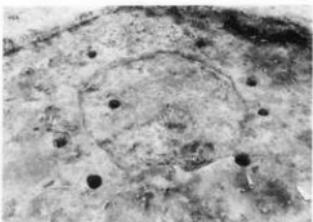
3 SB107建物跡実測 (東>西)



4 SX103柱穴群(北部) (南>北)



5 SX103柱穴群(南部) (北>南)



6 SI01壁穴住居跡実測 (南>北)



7 SI33壁穴住居跡実測 (北>南)



8 SI33壁穴住居跡遺物出土状況 (東>西)



1 S170號穴住居跡完掘 (北西▷南東)



2 S170號穴住居跡土層斷面 (北西▷南東)



3 S170號穴住居跡複式炉 (北西▷南東)



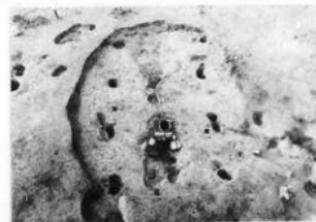
4 S170號穴住居跡複式炉 (北西▷南東)



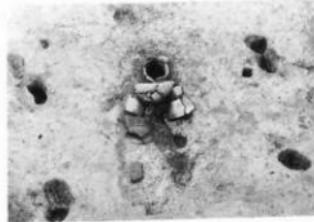
5 S170號穴住居跡遺物出土狀況 (南東▷北東)



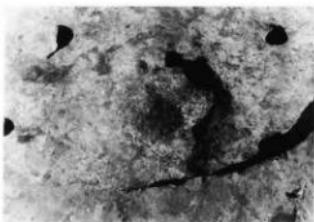
6 S170號穴住居跡遺物出土狀況 (北東▷南西)



7 S173號穴住居跡完掘 (南東▷北西)



8 S173A號穴住居跡複式炉 (南東▷北西)



1 SI73B 聚穴住居跡複式炉 (北西>南東)



2 SI73聚穴住居跡遺物出土狀況 (東>西)



3 SI73聚穴住居跡遺物出土狀況 (東>西)



4 SI73聚穴住居跡遺物出土狀況 (西>東)



5 SI75聚穴住居跡実施 (北>南)



6 SI75聚穴住居跡複式炉 (北>南)



7 SI75聚穴住居跡遺物出土狀況 (南東>北西)



8 SI75聚穴住居跡遺物出土狀況 (東>西)



1 SI81壁穴住居跡土層表面 (南▷北)



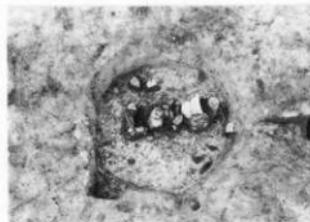
2 SI100壁穴住居跡土層表面 (北西▷南東)



3 SK05-08土坑遺物 (南▷北)



4 SK06土坑遺物 (西▷東)



5 SK54土坑遺物出土狀況 (南▷北)



6 SK90-91土坑遺物出土狀況 (北東▷南西)



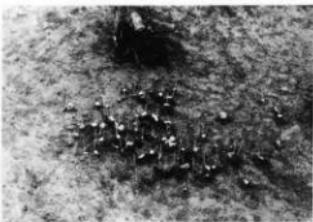
7 SN82土坑遺物出土狀況 (西▷東)



8 SW83土坑遺物 (北西▷南東)



1 MB45グリッド石器出土状況（南▷北）



2 MD43グリッド石器出土状況（北▷南）



3 MA50グリッド石器出土状況（南▷北）



4 SK31土坑石器出土状況（北東▷南西）



5 B区調査前近景（南西▷北東）



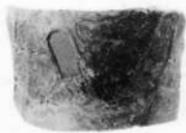
6 B区調査終了全景（南西▷北東）



7 B区遺物出土状況（南西▷北東）



8 B区遺物出土状況（南▷北）



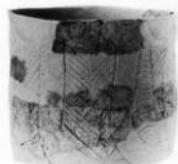
6 (SB22建物跡)



63 (SB32建物跡)



70 (SB40建物跡)



71 (SB40建物跡)



75 (SB40建物跡)



88 (SB51建物跡)



123 (SB107建物跡)



164 (SI20壁穴住居跡)



165 (SI20壁穴住居跡)



196 (SI70壁穴住居跡)



197 (SI70壁穴住居跡)



198 (SI70壁穴住居跡)

遺構内出土土器(1)



199 (SI70壁穴住居跡)



200 (SI70壁穴住居跡)



201 (SI70壁穴住居跡)



199 (SI70壁穴住居跡)



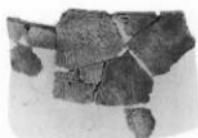
203 (SI70壁穴住居跡)



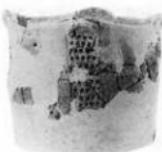
204 (SI70壁穴住居跡)



205 (SI70壁穴住居跡)



205 (SI70壁穴住居跡)



344 (SI73壁穴住居跡)



345 (SI73壁穴住居跡)



246 (SI73壁穴住居跡)



347 (SI73壁穴住居跡)

遺構内出土土器(2)



384 (SI73整穴住居跡)



349 (SI73整穴住居跡)



349 (SI73整穴住居跡)



350 (SI73整穴住居跡)



351 (SI73整穴住居跡)



445 (SI75整穴住居跡)



446 (SI75整穴住居跡)



447 (SI75整穴住居跡)



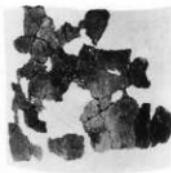
448 (SI75整穴住居跡)



449 (SI75整穴住居跡)

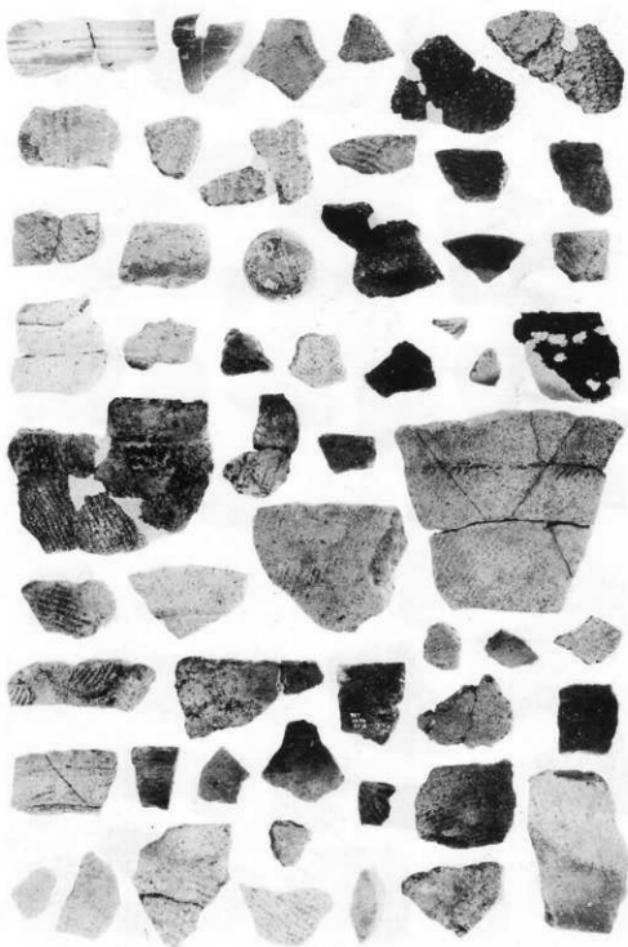


450 (SI75整穴住居跡)

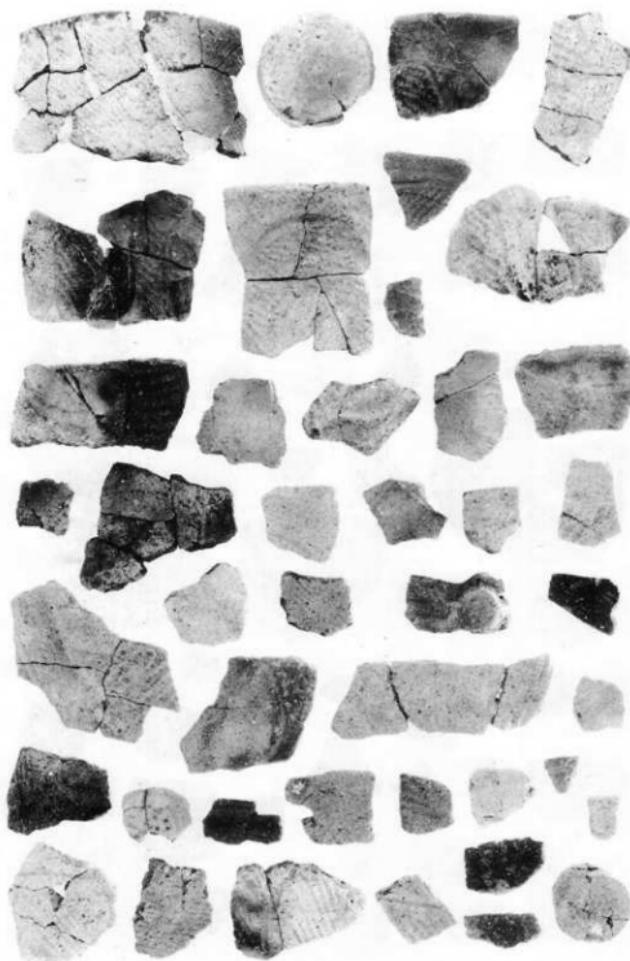


571 (SN82燒土遺構)

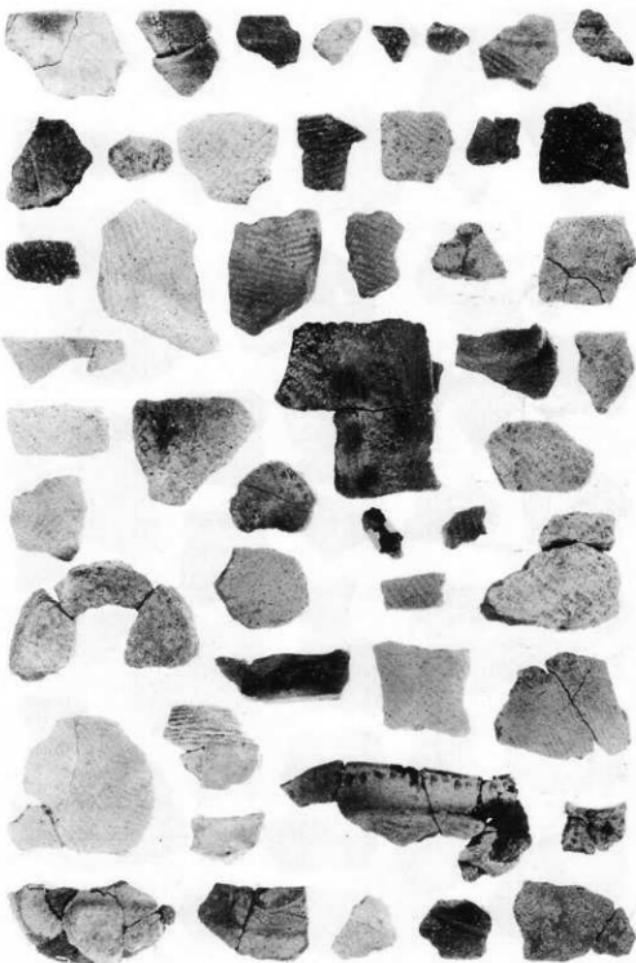
遺構內出土土器(3)



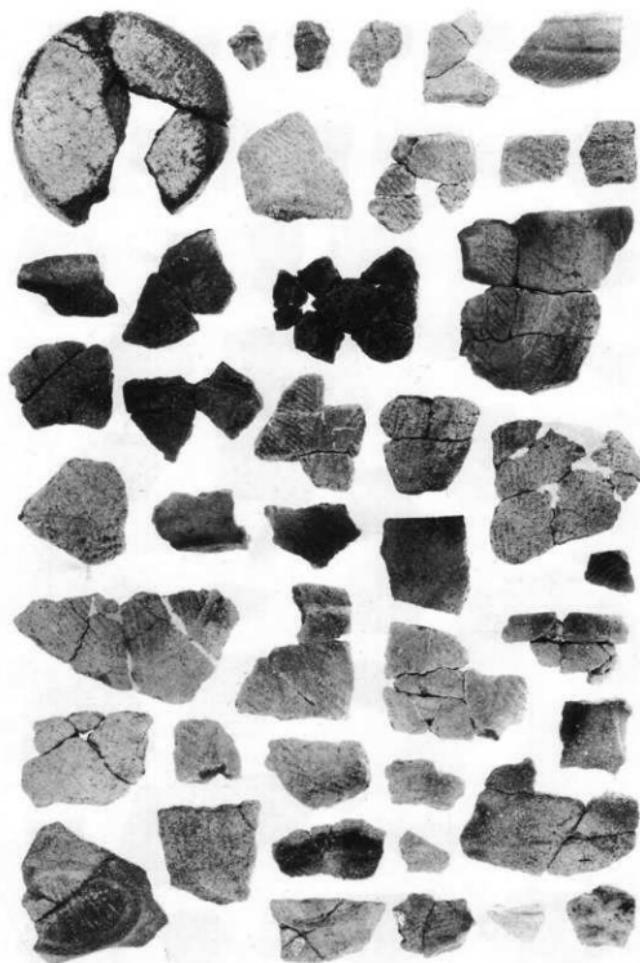
遺構内出土土器(4)



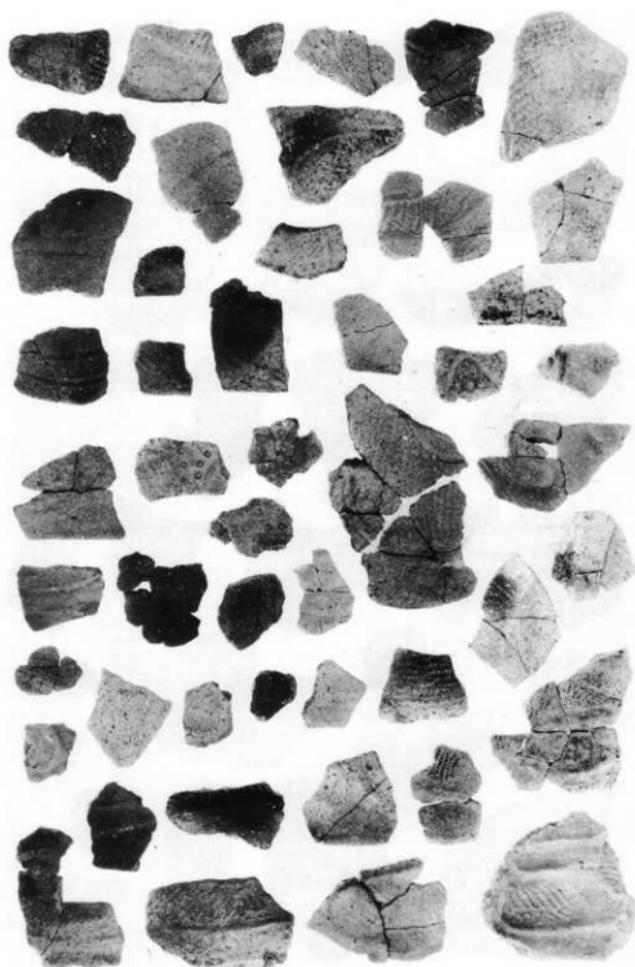
遺構內出土土器(5)



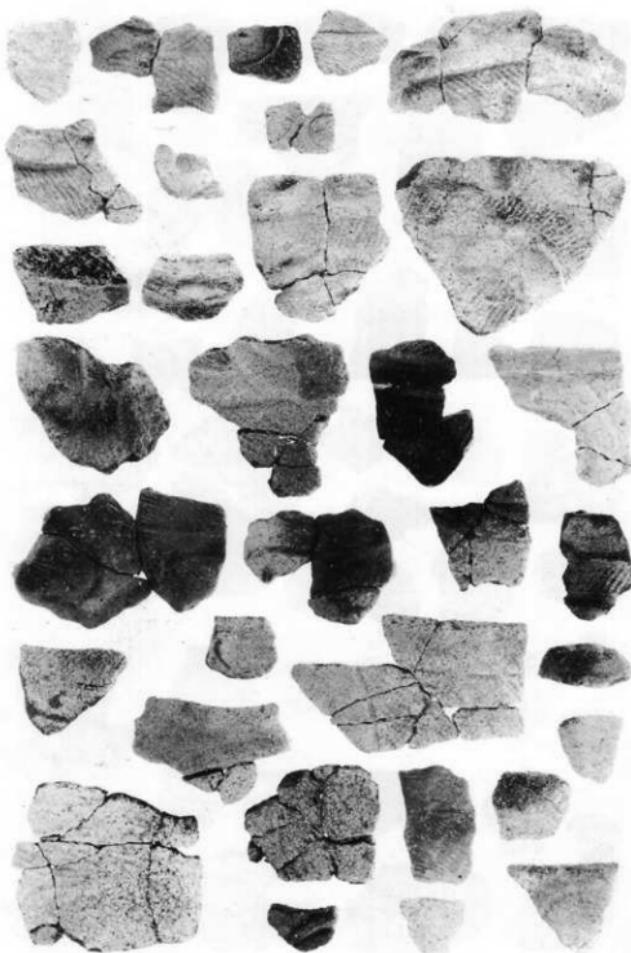
遺構内出土土器(6)



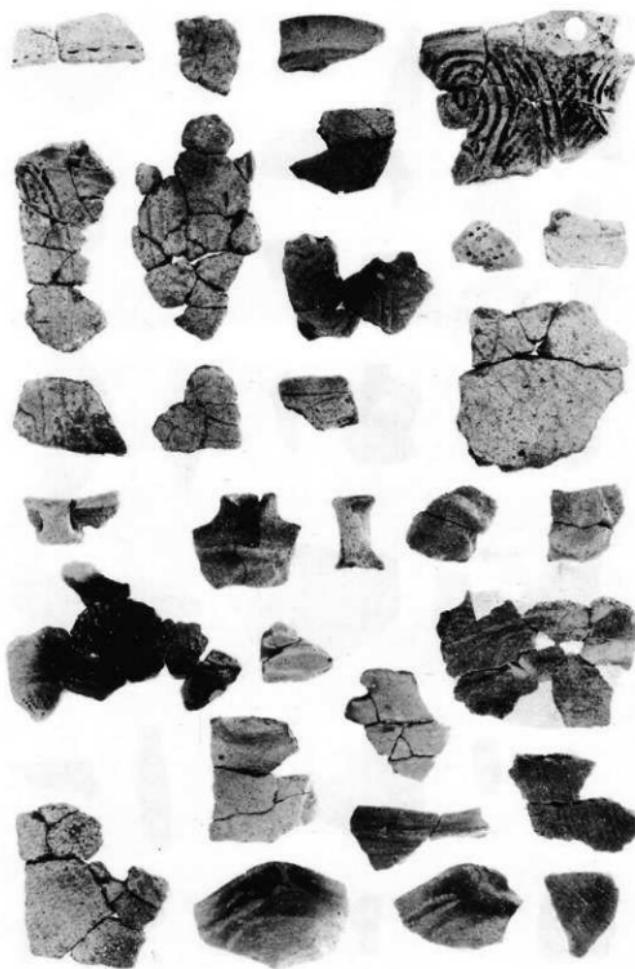
遺構内出土土器(7)



遺構內出土土器 (8)



遺構內出土土器(9)



遺構内出土土器(10)



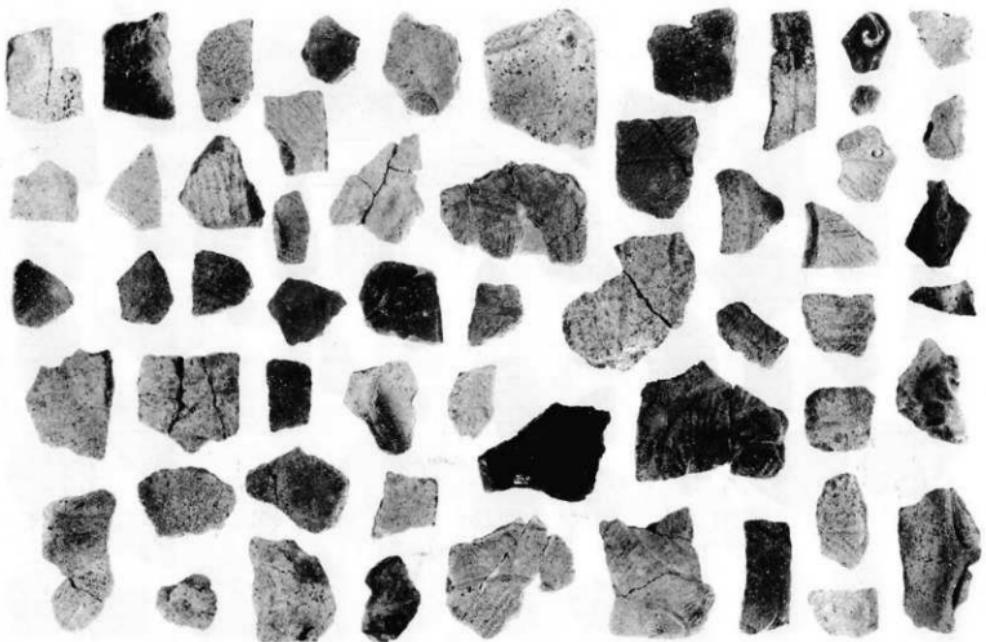
遺構内出土石器(1)



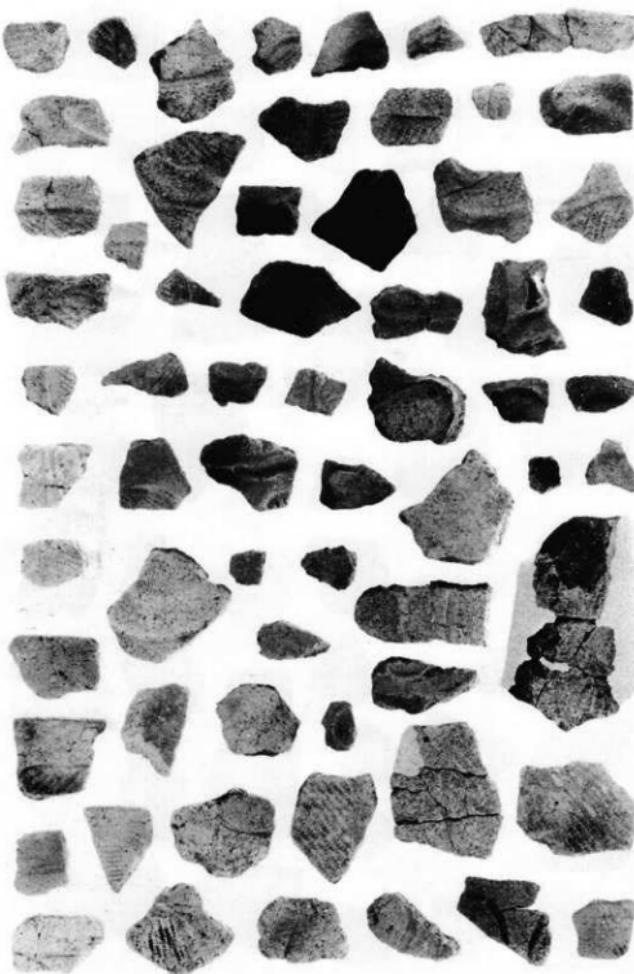
遺構内出土石器(2)



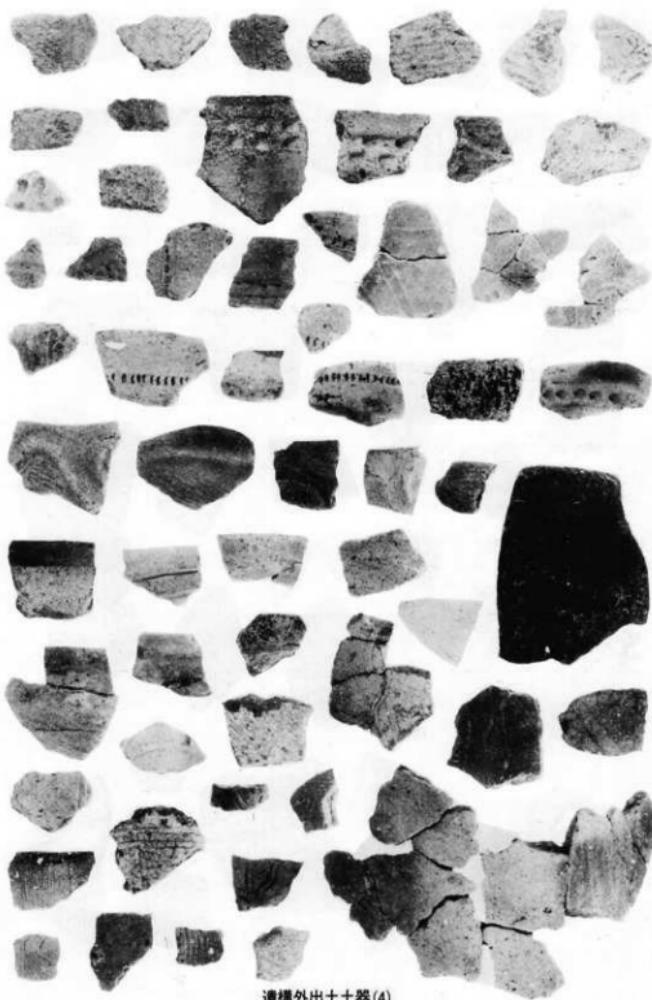
遺構外出土土器(1)



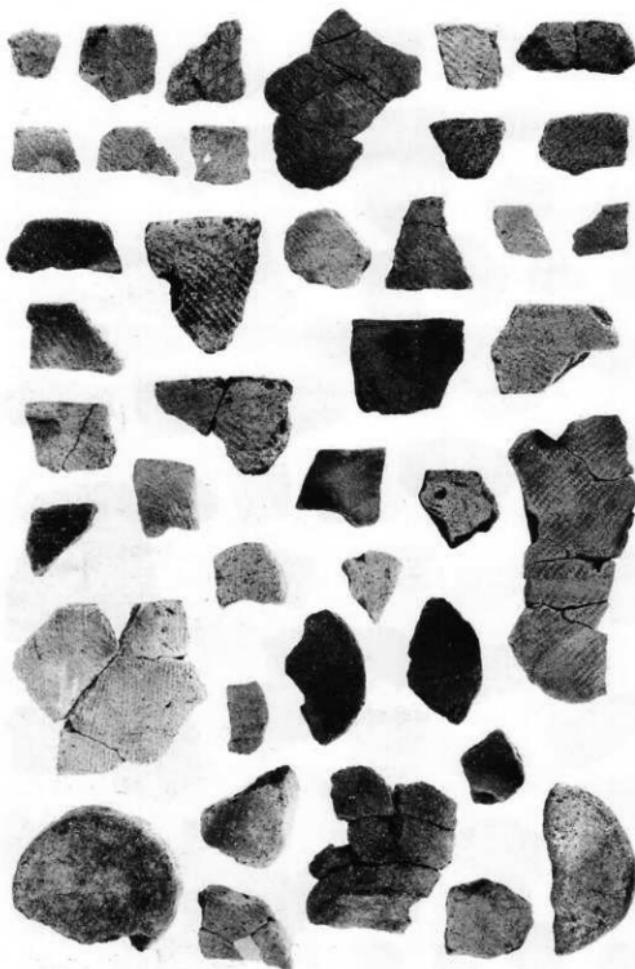
遺構外出土土器(2)



遺構外出土土器(3)



遺構外出土土器(4)



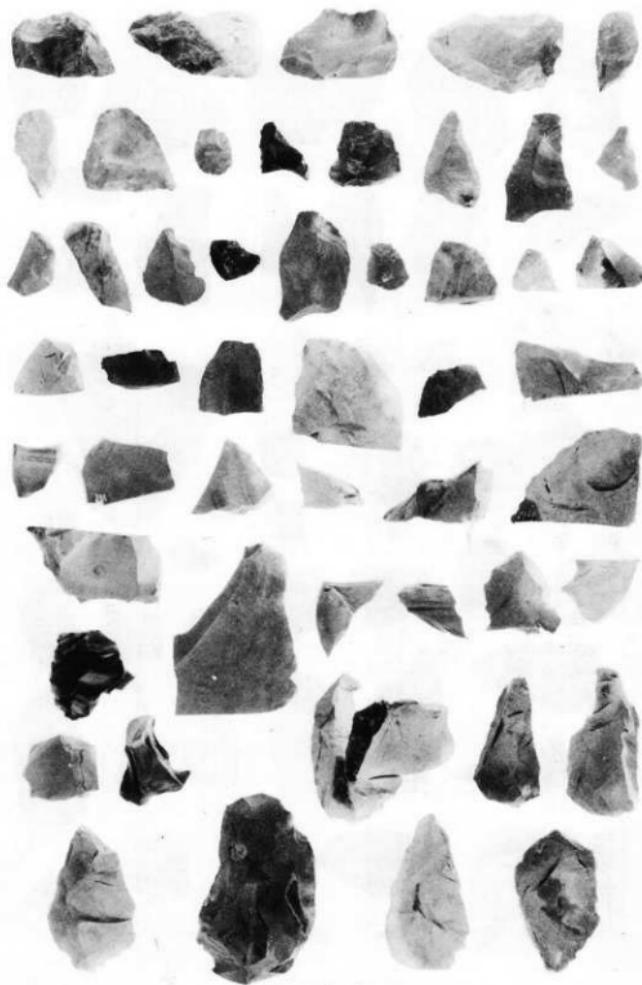
造構外出土土器(5)



造構外出土土器(6)



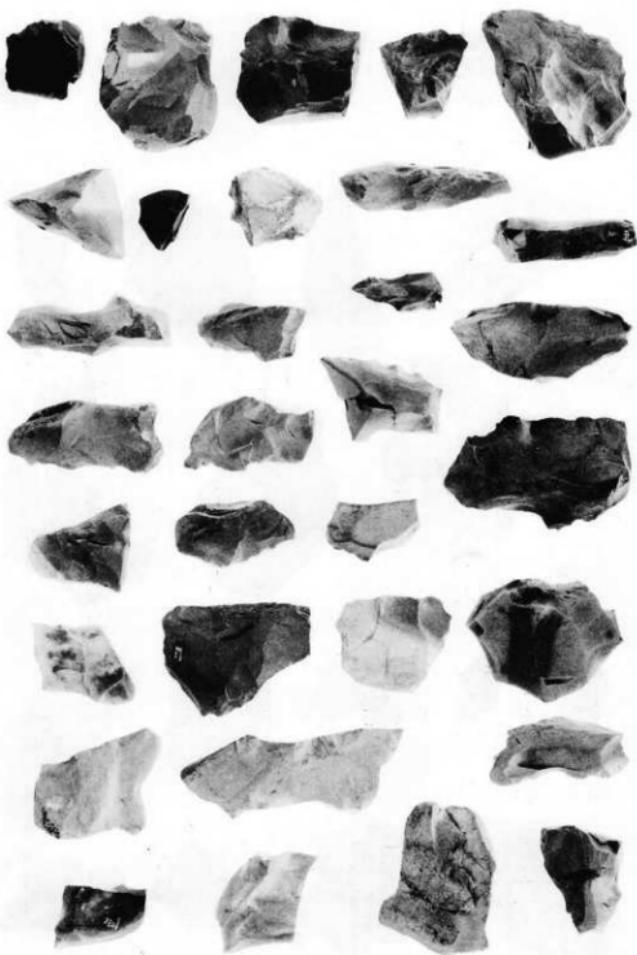
遺構外出土石器(1)



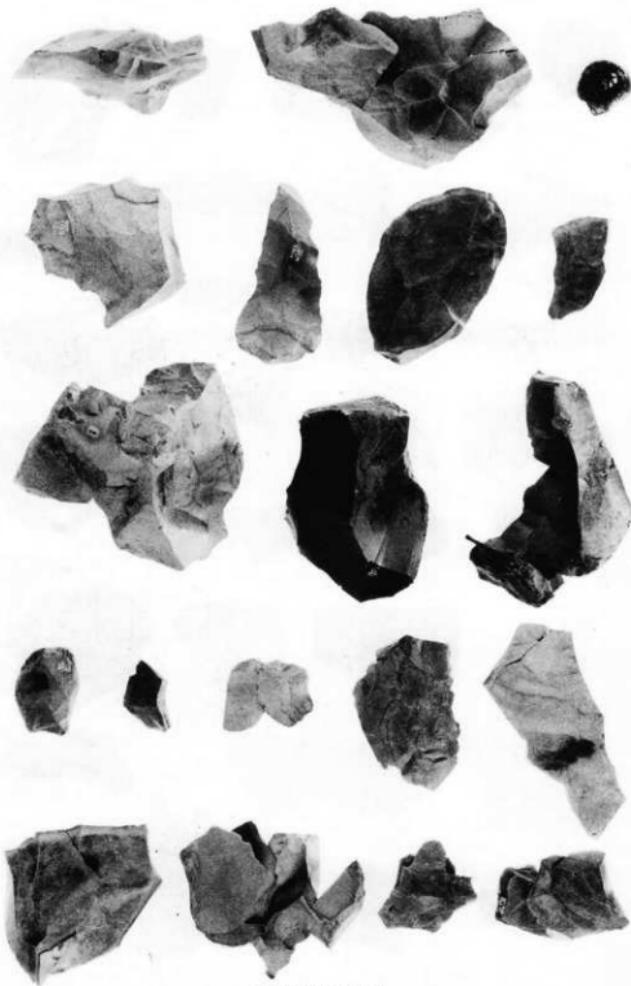
遺構外出土石器(2)



遺構外出土石器(3)



遺構外出土石器(4)



遺構外出土石器(5)



B区出土遗物

あとがき

太田遺跡の発掘調査と整理・報告書作成作業には下記の人々の協力を得た。(五十音順)

現場作業従事者

青谷 喜美雄 飯村 謙治 石黒 勝良 伊藤 孝太郎 伊藤 長之助 伊藤 祐治
打川 健吉 加賀谷 修治 加藤 清二美 北野 正之助 黒田 幸夫 小松 喜代助
駒林 善助 崎野 誠一 佐々木 重雄 佐々木 精一 佐々木 憲吉 佐藤 猪雄治
佐藤 義浩 佐貫 清品川 清三 品川 寅之助 高橋 一郎 高橋 慶助
高橋 孝太郎 滝澤 喜代治 富樫 喜志郎 戸鳥 鶴治 新田 重治 深谷 銀藏
本郷 功 最上 昭二 野本 孝之助 山崎 良司 相川 ヒサ子 青谷 富士子
青谷 れい子 伊藤 キン子 伊藤 多江子 伊藤 ミワ 太田 美智子 太田 光子
小笠原 トミ 佐々木 キノ 佐藤 キヨ 佐藤 貞子 品川 栄子 高田 悅子
高田 マサ子 高田 真利子 高橋 イネ子 高橋 ミエ 戸鶴 ノエ 内藤 恵美子
畠山 広子

整理作業従事者

栗津 ひろみ 伊藤 昭彦 草彌 主子 小林 悟 斎藤 美江子 佐々木多恵子
佐藤 せい子 佐藤 寿子 進藤 始子 高橋 早百合 中島 広美 新田 理坪子
森川 たま子